

No.1

景観要素

斜面林

テーマ

彼方に連なる緑の丘



景観づくりの方向性

平塚の遠景を形づくる緑連なる斜面林を保全します。

景観づくりのイメージ

家並みが広がるまちの背景には、緑の映える斜面林が連なっています。



事例紹介

(左)
高根の斜面林



(右上)
南金目の斜面林



(右下)
高麗山と湘南平



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

保全樹・保全樹林の指定を進めるとともに、トラスト制度について検討を進めていきます。

景観づくりキーワード

保全樹
緑の連続性
稜線
尾根筋
傾斜屋根

関連景観要素シート

No. 1 No. 2 No. 7 No. 16

都市・景観形成史

湘南丘陵地にある平塚八景の一つ「七国峠」は、甲斐、駿河、伊豆、相模、安房、上総、武蔵の七ヶ国を一望できたことから名付けられたといわれます。この峠には、源頼朝が挙兵した際、この地の領主土屋三郎遠の実子、宗光が石橋山の合戦で戦死したのを悲しみ植えられたといわれる供養松の伝説があり、また甘茶で旅の疲れを癒した長兵衛茶屋がありました。

これにちなんで、市制50周年を記念した平塚八景を選定した際、茶屋を模したあずまやと松の植樹による展望スポットを整備しました。

平塚市の西部の丘陵に、標高181mの湘南平があります。つづいて出縄、坂間、吉沢、土屋、金目の丘陵、そのほとんどが余綾郡に属していたので、余綾丘陵といいました。吉沢の丘から見た丘陵(市制40周年記念誌)



景観特性と課題

平塚市の西部地域には起伏に富んだ丘陵地が広がり、山辺を縁取る連続した斜面林が地形の特徴を際立たせ、多様な生態系を誇る緑豊かな丘陵地景観が広がっています。

一方で、ごみの不法投棄や資材の野積み、斜面林の緑の連続性を分断する開発など、良好な丘陵地景観を阻害する要因が生じています。

また、周辺市町との境界に位置する丘陵地では、景観・環境面での連続性が求められます。

市民の取り組み

西部丘陵地の里山では、市民ボランティア団体等による雑木林作業を通じた里山の再生・保全活動をはじめ、自治会による下草刈り等が行なわれています。

岡崎の里山では、史跡「岡崎四郎義実公」の墓の保存と山林の保全活動が地元住民有志により行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 里山保全モデル地区における保全活動の実施
【平塚市（環境政策課）】
- ◆ 里山保全計画の策定【平塚市（環境政策課）】
- ◆ 平塚市緑化条例【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 保全樹の指定制度【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ かながわのナショナル・トラスト運動（トラストによる緑地保全）

<景観法関連> ○景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることを

- ・斜面林の豊かな緑を大切に保全しましょう
- ・緑の連続性が途切れないように配慮しましょう
- ・周辺の山並みとの調和に配慮したデザインとしましょう
- ・稜線を建築物等で阻害しないようにしましょう

関連ガイドライン

景観要素

里山

テーマ

身近に感じる里山の四季



景観づくりの方向性

適正な管理を通じて、緑の丘陵を構成する里山景観を保全します。

景観づくりのイメージ

里山の雑木林や谷戸の田んぼは、多くの人達が協力しながら手入れを行い、人と自然が作り出す里山の風景が守られています。



事例紹介

(左)
土屋の谷戸田



(右上)
里山と道祖神



(右下)
管理された雑木林



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

里山体験学習の充実、里山活用フィールドの拡大や魅力あるハイキングコースの整備により、より多くの来訪者を集め、里山景観の魅力や大切さを広めていきます。

景観づくりキーワード

谷戸田
保全樹
緑の連続性
稜線
尾根筋
傾斜屋根

関連景観要素シート

No. 1 No. 21 No. 27 No. 63

都市・景観形成史



真清水に
まのあかり
みどりの里山

西部丘陵地域は、現在でも昔から見られた樹林、農地、集落がそろった里山的な景観が多く残されています。しかし近年になって新たな宅地開発やゴルフ場の造成、大学などの建設が進められ、里山とは異なる景観が見られるようになった箇所もあります。



丘陵地帯の農村土屋村と吉沢村は、明治22年合併して土沢村となる。
土沢村の丘陵地帯(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

谷戸田と一体となって四季折々に表情を変える里山の身近な緑は、人と自然が作り出す景観です。
里山の緑は、人の手が入ることで、あるいは生態系が保たれることで維持されていくものですが、資材の野積みや谷戸田の荒廃などにより良好な里山景観を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

西部丘陵地域では、荒廃した里山を保全・再生するため市民活動団体や市民ボランティアによる散策路の整備、間伐、枝打ち、下草刈り等の里山保全活動が行われています。
土屋の里山では、谷戸田での米作りや保育園児や幼稚園児の自然体験課外保育、コナラ・クヌギなどの樹木の苗の育成などが、地元市民活動団体により行われています。
岡崎の里山では、史跡「岡崎四郎義実公」の墓の保存と山林の保全活動が地元住民有志により行われています。

主関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 里山保全モデル地区における保全活動の実施
【平塚市（環境政策課）】
- ◆ 里山保全計画の策定【平塚市（環境政策課）】
- ◆ 里山体験教室等の開催【平塚市（環境政策課）】
- ◆ 自然観察園の整備と活用【平塚市（博物館）】
- ◆ かながわのナショナル・トラスト運動（トラストによる緑地保全）

<景観法関連> ◎景観農業振興地域整備計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・豊かな緑と自然環境を大切に保全しましょう
- ・緑の連続性が途切れないように配慮しましょう
- ・周辺の山並みとの調和に配慮したデザインとしましょう

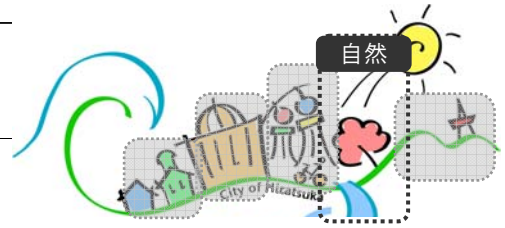
関連ガイドライン

景観要素

農地

テーマ

人と自然が作り出す
広大な作品



景観づくりの方向性

季節の移ろいと開放感が感じられる広々とした、まとまりのある田園景観を維持、保全します。

景観づくりのイメージ

長い年月をかけて、自然と農家の人たちの営みが築き上げてきた美しい田園の風景は、これからも様々な豊かさやうるおいを享受する人々に支えられながら、次世代に引き継がれていきます。



事例紹介

(左)
寺田繻



(右上)
岡崎



(右下)
城島

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

遊休農地を活用し、レンゲや菜の花、ヒマワリなどの景観作物による花畑づくりを広げていきます。

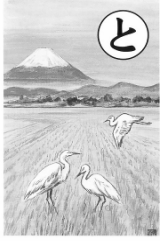
景観づくりキーワード

開放感
緑の連続性

関連景観要素シート

No. 7 No. 12 No. 15 No. 16 No. 17 No. 27 No. 56 No. 63

都市・景観形成史



遠く富士
青田の原に
遊ぶ鷺

金目川の扇状地は、古くから水田として開墾され、金目川の水を灌漑して米作本位の農業を営んできました。明治から大正にかけては、大野、豊田、旭、金田、玉川沿岸で大規模な耕地整理が行われました。平野部の豊かな水田景観は、神奈川の穀倉といわれ、また県立農業学校が早くから設立され、農林水産省の農業技術研究所や県立の農業研究所も設けられました。

金目川、鈴川、洪田川の合流地点に発達した平野部の農村。明治22年に寺田縄村、入野村、長持村、飯島村長持入部が合併して金田村となる。
金田村の農村風景(平塚50年の歩み)



景観特性と課題

平塚市の北部地域には、県下でも有数の広大な農地と周辺の山並みや斜面林が一体となった、季節感あふれるのびやかな田園景観が広がっています。

一方、規模の大きい屋外広告物や資材の野積み、さらに田園の中で目立つ鉄塔など、良好な田園景観を阻害する要因が生じています。神奈川県屋外広告物条例では、田園地帯を貫く東海道新幹線と小田原・厚木道路のそれぞれ両側500mの範囲内を屋外広告物が掲出できない「禁止地域」に指定しており、良好な田園景観の保全に寄与しています。

市民の取り組み

金田地区では、自治会を中心に田畑、水路の不法投棄物の回収活動をはじめ、土地所有者や金田小の児童らが協力して、休耕地を活用した花畑を創出する「休耕地花づくり事業」に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ サポートファーマー育成事業【平塚市（農水産課）】
- ◆ 農地の有効活用の促進【平塚市（農業委員会）】
- ◆ 市民農園整備支援事業【平塚市（農水産課）】
- ◆ 花と緑のふれあい拠点（仮称）の整備【平塚市（農水産課）】

<景観法関連> ◎景観農業振興地域整備計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・のびやかな田園風景を大切にしましょう
- ・周囲との調和に配慮したデザインとしましょう
- ・野立看板の設置は避けましょう

関連ガイドライン

景観要素

相模川

テーマ

広さと奥行きを感じる
ゆったりとした流れ

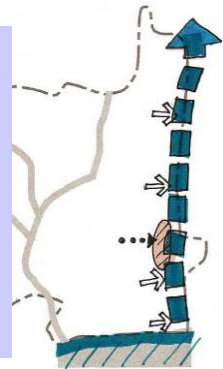


景観づくりの方向性

広々とした河川敷、豊富な水量など、相模川の雄大な河川空間を維持、保全します。

景観づくりのイメージ

緑を敷き詰めた川辺や、色彩やかに咲き誇るお花畑の間を、雄大な水の帯がゆったりと流れていきます。



事例紹介

(左)
銀河大橋付近



(右上)
相模川河口



(右下)
馬入



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

流域の行政、事業者、住民が連携して、クリーンキャンペーンや不法投棄パトロールを進めていきます。また、相模川沿いの並木づくりを進めていきます。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
お花畑
海
流域の統一感
親水性

関連景観要素シート

No. 9 No. 16 No. 17 No. 30 No. 52 No. 53 No. 54 No. 55 No. 56
No. 62 No. 70

都市・景観形成史



ぬれた手に
あゆの背キラリ
相模川

相模川は一般に呼び習わされているこの名称のほかに「桂川」という名称を持っています。この2つの名称は「相模川（桂川を含む）」として、昭和44年に一級河川に指定された時に正式名称として登録されました。相模川の河口付近は「馬入川」とも呼ばれていますが、この名称の由来はこの橋の供養に訪れた頼朝の馬が突然相模川に暴れ入り、源頼朝が落馬したという伝説から名付けられたともいわれています。湘南潮来は、平塚八景の一つとなっています。



景観特性と課題

平塚市の東側には雄大な相模川が流れ、大きな水の軸線を形成しています。一方、河川敷へのごみの不法投棄など、河川本来の姿を阻害する要因が生じています。雄大な相模川は本市への玄関口といえる河川であり、また相模川に架かる湘南大橋・馬入橋・湘南銀河大橋・神川橋は見通しのよい視点場としても重要です。相模川は多くのダム、堰を持ち、神奈川県民の水をおぎなう「利水」の川であるとともに、古くからアユが豊富な「アユの川」としても知られています。一方で無堤区間が残されているなど治水上の課題もあり、不法投棄もクローズアップされていますが、「馬入水辺の楽校」やスロープ、河川敷の花畑の整備なども進められています。

市民の取り組み

相模川では、多くの市民活動団体や自治会が、河川美化活動に取り組むほか、渡し舟体験や「馬入水辺の楽校」の自然観察会などが開催されています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 清掃活動や緑化活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 「馬入水辺の楽校」の運営に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 馬入花畑の整備【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・周辺景観との調和や親水性に配慮しましょう
- ・積極的な緑化を図りましょう

関連ガイドライン

景観要素

金目川

テーマ

山並みに続く清流



景観づくりの方向性

山々の稜線が見渡せ、自然に親しめる水辺空間を保全・創出します。

景観づくりのイメージ

遠くに青い山並みを望む、清らかな流れの兩岸には、満開の桜を楽しむ人たちが行き交う土手沿いの散歩道が続いています。



事例紹介

(左)
入野

(右上)
金目

(右下)
土屋



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

金目川の土手沿いは、桜並木を広げて
いきます。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
桜並木
山並み
流域の統一感
親水性

関連景観要素シート

No. 6 No. 7 No. 9 No. 15 No. 16 No. 17 No. 21 No. 52 No. 54 No. 55
No. 62 No. 70

都市・景観形成史



花水の川面を染める花がすみ

金目川下流は、別名「花水川」といい、昔は桜の花が水面に映る景勝地でした。源頼朝が花見に訪れたものの前夜の風で花が散って見られず、これにちなんで「花見ず川」と名付けられたのが由来ともいわれます。明治38年、神奈川県知事周布公平の希望で、金目川堤に吉野桜の苗数千本の植付けが行われましたが、その後の長い年月により樹勢が衰えて激減したため、昭和44年に津田知事の指示で再び苗木を植え付けました。また花水川堤では、昭和32年の市制25周年に市議会の発案での桜が植樹されました。



景観特性と課題

平塚市の北西部から相模湾にそそぐ金目川は、遠景の山並みと調和した河川景観をつくり出しています。河川敷や護岸には緑が多く、川沿いには心地良い桜並木や散歩道などもあり、市民に親しまれています。一方で、ごみの不法投棄が見られるなど、河川本来の姿を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

金目川では、沿川各自治会による土手や河川敷の美化活動が行なわれています。また、多くの市民団体等により、金目川の自然環境を守る様々な活動が展開されています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度> ◆ 清掃活動や緑化活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・周辺景観との調和や親水性に配慮しましょう
- ・積極的な緑化を図りましょう

関連ガイドライン

景観要素

市街地の中小河川

テーマ

暮らしにやすらぎを
与える空間

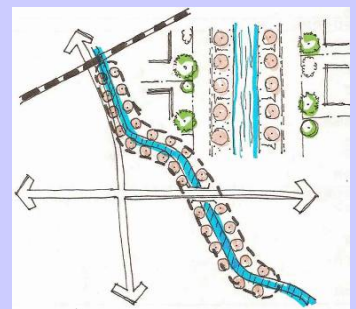


景観づくりの方向性

まちの表情と河川が一体となった親水空間を演出します。

景観づくりのイメージ

家々の庭木や街路樹、そして市民が植えた両岸の花々が織り成す彩りの水辺空間がつづいています。



事例紹介

(左)
河内川 (河内地区)



(右上)
洪田川 (中原地区)



(右下)
河内川と高根川合流部



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

地域ごとに土手沿いの花々の植栽や草刈に取り組み、わがまちの川辺自慢を広げていきます。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
桜並木
あじさい
流域の統一感
親水性

関連景観要素シート

No. 6 No. 7 No. 9 No. 15 No. 16 No. 21 No. 52 No. 59 No. 60 No. 61
No. 62 No. 70

都市・景観形成史

平成10年頃から、上流「かまくら橋」から下流の「下河原橋」までの距離約1・4キロメートルの土手に毎年あじさいが少しずつ植えられてきました。毎年6月には、市立旭北公民館を中心に「旭河内川あじさいまつり」が開催されています。

平成17年神奈川県広報コンクールの映像の部で、平塚市が応募した広報ビデオ『あじさいの咲く河内川』が最優秀賞に選ばれました。

景観特性と課題

市街地を流れる地域生活と密着した河内川などの中小河川は、地形の骨格を際立たせ、あじさいや桜といった四季を彩る川沿いの植栽などの水辺景観も特徴的です。

一方で、コンクリート護岸等による河川改修などにより、川への親しみやすさが失われる要因が生じています。

市民の取り組み

洪田川や河内川では、沿川自治会により、桜やあじさいの植栽、管理、四季の花壇の整備が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ よみがえれ、ふるさとのせせらぎ事業の推進
【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 清掃活動や緑化活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・周辺景観との調和や親水性に配慮しましょう
- ・積極的な緑化を図りましょう

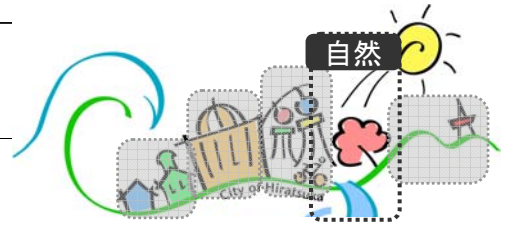
関連ガイドライン

景観要素

田園の中小河川

テーマ

田んぼをうるおす
のんびりとした流れ

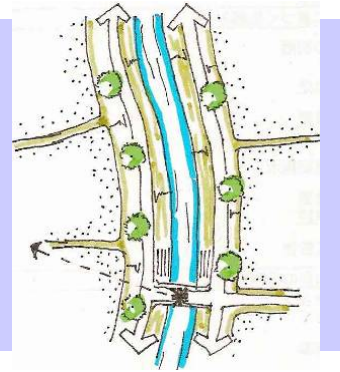


景観づくりの方向性

広々とした田園風景と調和した、多様な生き物を育む川の流
れを維持・保全します。

景観づくりのイメージ

広々とした田んぼの中、野花咲く川
沿いの土手の土は、自然と親しむ絶
好のウォーキングコースとなってい
ます。



事例紹介

(左)
鈴川 (岡崎地区)



(右上)
洪田川 (真土地区)



(右下)
玉川 (大神地区)

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

土手沿いを、自然に親しめる歩行空間
として維持・管理を充実し、不法投棄
を監視する市民の目を増やしていきま
す。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
流域の統一感
親水性

関連景観要素シート

No. 3 No. 5 No. 16 No. 17 No. 52

都市・景観形成史

地元自治会の方々を中心に、渋田川の土手に桜が植栽され、平成10年には苗木300本を一斉に植樹しました。平成13年度から第2期の活動としてあじさいの植栽を始めています。鷹匠橋付近では、毎年「渋田川桜まつり」が開催されています。



小鍋島の掘割に架けた橋で、この地にふさわしい橋名です。
島橋(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

土手沿いを、自然に親しめる歩行空間として維持し、不法投棄を監視する市民の目を増やしていきます。

市民の取り組み

渋田川では、川沿いの桜並木と花壇づくりが、鈴川では土手の草刈りが、大根川ではクリーンアップ活動が、それぞれ沿川自治会や住民により行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 清掃活動や緑化活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・周辺景観との調和や親水性に配慮しましょう
- ・積極的な緑化を図りましょう

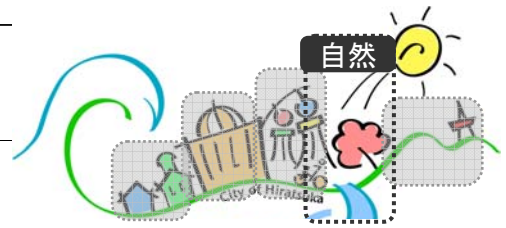
関連ガイドライン

景観要素

小川と水路

テーマ

親しみあるせせらぎ空間

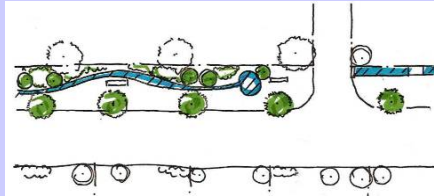


景観づくりの方向性

まちなかの水路を活用した、親しみあるせせらぎ空間を創出します。

景観づくりのイメージ

街路に沿って流れるせせらぎは、まちなかにささやかな自然の息吹を感じさせてくれています。



事例紹介

(左)
万田貝塚住宅付近

(右上)
ヘルシーロード
(中堂付近)

(右下)
崇善小学校東 (浅間町)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

水路の転落防止柵やガードレールは、まちなかの風景に溶け込むデザインや色彩となるよう修景を進めます。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
流域の統一感
親水性

関連景観要素シート

No. 45 No. 50 No. 51 No. 52 No. 69

都市・景観形成史

相模川左岸の田村は、農耕用水を二里北の小鮎川から用水溝を設けて引き、これを「田村用水」と古くから呼んでいましたが、昭和10年頃から昭和用水普通水利組合が成立し、水利の高度利用が行われるようになり、次いで各所に水利組合が発足しました。

相模川沿岸に位置する旧中郡の諸村は、耕地用水として相模川の水系を直接利用できなかったため、北方の愛甲郡小鮎川の水を掘割をつくって導入しなければなりませんでした。
田村用水(市制40周年記念誌)

**景観特性と課題**

道路に沿って流れる小川や水路は、まちなみにうるおいを与えています。小川や水路沿いは周辺住民の散歩道として活用されています。一方、公共下水道の普及により、小川や水路の暗渠化（あんきょか）が進み、身近な水辺空間が少なくなっています。また、ポイ捨てや犬のフン害などによる景観・環境悪化が見られる場所もあり、利用者のマナー向上が求められます。

市民の取り組み

用水路沿いの花壇づくりや小川沿いのヒマワリの植栽などに取り組んでいる自治会があります。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 清掃活動や緑化活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 自然環境に配慮した農道・水路等の整備【平塚市（農水産課）】

<景観法関連> ○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・周辺景観との調和や親水性に配慮しましょう
- ・積極的な緑化を図りましょう

関連ガイドライン

景観要素

平塚海岸

テーマ

広々と開放感溢れる海辺



景観づくりの方向性

広々とした砂浜や松林がつながる開放的な海岸景観を維持、保全します。

景観づくりのイメージ

松林を抜けると、ハマヒルガオのじゅうたんを敷き詰めた砂浜が広がり、青い空と海が広がっています。



事例紹介

(左)
ハマヒルガオの群落

(右上)
平塚海岸

(右下)
平塚海岸の夕景

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

サーフィン大会などのイベントとタイアップしたビーチクリーン作戦を展開します。

景観づくりキーワード

ハマヒルガオ
砂浜
松林
太平洋への眺望
保安林
風致地区

関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 10 No. 11 No. 13 No. 15 No. 16 No. 25 No. 48
No. 59 No. 62 No. 66 No. 70

都市・景観形成史



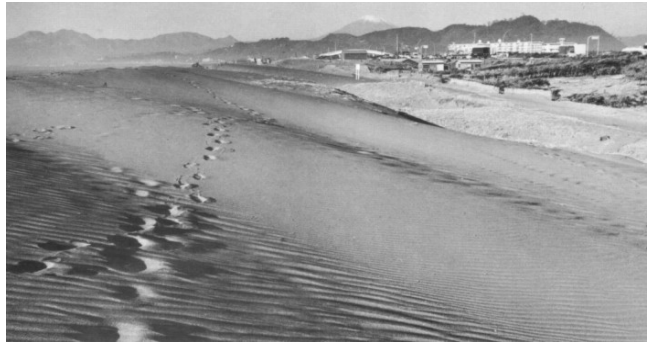
夕映えの
平塚海岸
富士はるか

かつて平塚海岸は遠浅の海で、北原白秋の詩に「海は遠浅 砂山小松島の御神火見て浴びる」があります。

大正8年に平塚町青年団により初めて海水浴場が開設され、昭和7年の市制施行記念日には「海水浴は湘南平塚へ」というパンフレットが作られ、京浜方面に宣伝されました。昭和10年には「県下名勝史跡四十五佳」に選ばれました。

昭和60年には、神奈川県と藤沢から大磯町までの沿岸自治体の共同で「湘南なぎさプラン」が策定され、湘南海岸地域の自然環境の保全、育成を図りながら、よりよい環境の創造と海岸文化の形成を目指して様々な事業が実施されています。

相模川と花水川の河口にはさまれた平塚海岸は、相模湾の荒磯で太平洋に臨んでいます。ふたつの川から流れ込む砂や土が磯に打ちあげられて砂丘ができています。
砂丘と大地(市制40周年記念誌)



景観特性と課題



相模湾に面した平塚海岸は、海、空、緑豊かな松林、ハマヒルガオやハマボウフウの咲く砂丘で構成された癒しと憩いを感じることのできる海岸景観が広がっています。

また、砂浜から望む富士山や周辺の山々を背景とした海岸景観も特徴的です。

海岸では、湘南海岸風致地区の指定がされており建築物の建築等の行為について規制が行われています。また、海岸清掃など市民の主体的な活動も進められています。

一方、海岸周囲には、周辺景観と調和しない建築物等も生じています。

市民の取り組み

平塚海岸では、多くの市民活動団体や自治会等により、海岸美化活動が活発に実施されています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 清掃活動に対する支援【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ ビーチセンター及びボードウォークの維持管理
【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・豊かな砂浜や緑地、海浜植物を保全しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

景観要素

漁港

テーマ

イキイキとした港

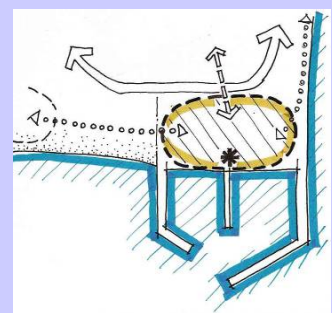


景観づくりの方向性

海の豊かさや楽しさをつたえる、にぎやかな海辺空間を創出します

景観づくりのイメージ

海を生業とする現場の活気と、海を楽しむ人たちの歓喜の声調和した、暮らしに密着した身近な海を感じる玄関口となっています。



事例紹介

(左)
平塚漁港 (新港)

(右上)
平塚漁港 (須賀港)

(右下)
新港での漁業体験風景



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

防波堤や灯台、岸壁などには、「湘南・平塚」らしさを感じるさりげないアクセントを加えます。
休日の新港には、海を楽しめる場を作っていきます。

景観づくりキーワード

棧橋
保安林
風致地区
松林

関連景観要素シート

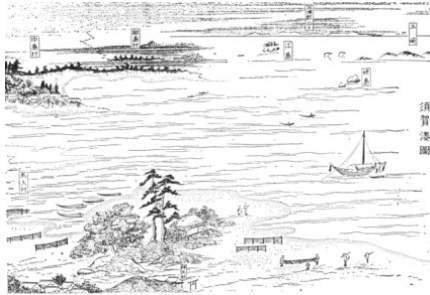
No. 9 No. 11 No. 42 No. 65 No. 66 No. 69

都市・景観形成史



須賀湊
相模の恵みの
集散地

平塚漁港は、かつて須賀湊と呼ばれた相模川河口の自然港でしたが、震災復興土地区画整理事業により昭和25年度に掘り込み漁港として整備され、引き続き河口航路の維持確保を目的とした導流堤等の整備を進めてきました。平成元年度からは、河口航路の閉塞や漁港の狭隘化等の問題を解消するとともに、海洋レクリエーションに対応できる新漁港の整備に着手し平成12年度から供用を開始しています。また合わせて、荷捌き施設や製氷施設などの漁業関連施設をはじめ、駐車場の整備を進めており、地域水産業とマリンレジャーの拠点となりつつあります。



天保6年の須賀湊(市制40周年記念誌)



須賀漁港に舟溜りする漁船(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

早朝の漁港は、漁から戻り漁獲物を水揚する漁船と、出港する釣り船が行き交う、活気溢れる港の景観が見られます。防波堤や防潮堤などの長大な構造物の壁に囲まれた港内は、機能性ととも、親しみやすい空間の整備が求められています。

市民の取り組み

平塚新港では、新港を利用する釣り人やボート利用者による定期的な清掃が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 都市漁村交流活動の支援【平塚市（農水産課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・豊かな砂浜や緑地、海浜植物を保全しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

景観要素

ビーチパーク

テーマ

太陽サンサン、ウキウキビーチ

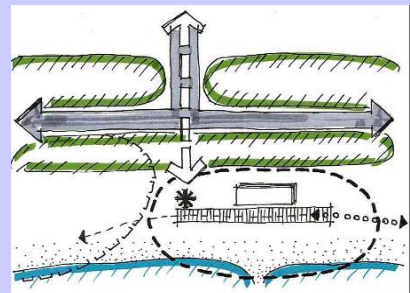


景観づくりの方向性

松林の緑と広い砂浜を活用した、身近なビーチリゾート空間を創出します。

景観づくりのイメージ

海や空の広さを目や肌で実感しながら、開放的なビーチを気軽に楽しめる空間が広がっています。



事例紹介

(左)
ボードウォーク

(右上)
ビーチセンター

(右下)
ビーチバレー風景



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

施設利用者による自主的なビーチパーク及び周辺の海岸清掃活動を促進します。

景観づくりキーワード

ボードウォーク
砂浜
松林
保安林
風致地区

関連景観要素シート

No. 4 No. 9 No. 10 No. 13 No. 15 No. 16 No. 42 No. 48 No. 59 No. 62

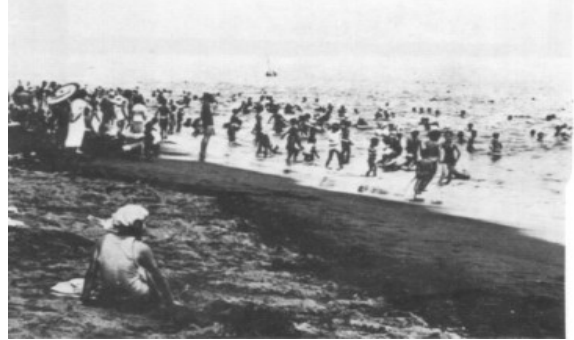
都市・景観形成史



海風に
若さは
じける
ビーチ
パーク

平塚海岸は、昔から地引き網によるささやかな漁場でした。大正8年に平塚町青年団が主催して、平塚海水浴場を開設しました。平成2年に神奈川県による総合イベント「サーフ'90」が開催され、その翌年に未来型ビーチの一つとして湘南ひらつかビーチパークは誕生しました。その後平成7年にビーチセンターがオープンしました。

明治の中ごろには、平塚海岸に競馬場があって、毎年春秋に草競馬が行われました。平塚海岸は、昔から地引き網によるささやかな漁場でした。大正8年平塚町青年団が主催して、平塚海水浴場を開設しました。
海水浴場(市制40周年記念誌)



景観特性と課題



海や空の広がる開放感ある砂浜や四季を通して人々で賑わうビーチパークは、夏の海水浴をはじめ1年を通じて多くの市民や市外からの来訪者に親しまれています。

市民の取り組み

ビーチパークでは、湘南ひらつかビーチクラブを中心に、ビーチスポーツイベントや美化活動が活発に行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ ビーチセンター及びボードウォークの維持管理

【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・豊かな砂浜や緑地、海浜植物を保全しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

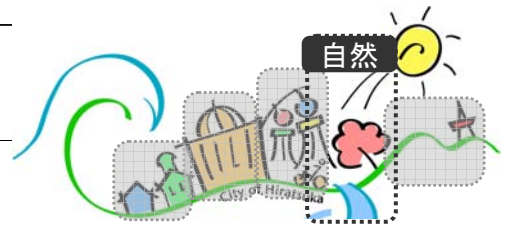
関連ガイドライン

景観要素

屋敷林

テーマ

暮らしの中で守ってきた杜



景観づくりの方向性

暮らしを潤す貴重な緑として、屋敷林を大切に維持、保全します。

景観づくりのイメージ

風景に緑のアクセントを添える屋敷林は、日々の暮らしの中で大切に守り育てられています。



事例紹介

(左)
岡崎(右上)
土屋(右下)
御殿景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)地域の資源として保全していく仕組み
を考えていきます。

景観づくりキーワード

保全樹
生垣
地域のシンボル
暮らしの知恵

関連景観要素シート

No. 3 No. 22 No. 23 No. 25

都市・景観形成史

寄木神社のイチョウや前鳥神社の樹林は、相模川の自然堤防上に生育した古木とされています。

昭和51年に「平塚市緑化の推進及び緑の保全に関する条例（平塚市条例第39号）」に基づき、扇の松など17本の保全樹や平塚八幡宮と前鳥神社の森を保全樹林に指定しました。平成19年現在、保全樹木62本、保全樹林9ヶ所、保全生垣6ヶ所を指定しています。



生垣の中がお屋敷で、周囲の水田は濠の跡(昭和34年)
お屋敷(市制40周年記念誌)

明治28年、神奈川県知事 中野健明が、県下の各学校へ樟(楠)の種子一袋ずつ配布、平塚小学校(現崇善小学校)で発芽し、いま市民センターの西側の植込みの中にある巨木となっています。実生の樟樹(市制40周年記念誌)

**景観特性と課題**

不動院の梅やしだれ桜、日枝神社などの社寺林、金田地区などの歴史が感じられる農家の屋敷林など、四季折々の緑の景観を楽しむことができます。

一方、貴重な屋敷林や樹木が年々失われつつあります。

市民の取り組み

市内各地に残る屋敷林は、住民の努力によって大切に守られています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 生垣の設置促進’ いげき設置補助’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 保全樹木等の指定 【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観重要樹木○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・敷地に残る大切な樹木を保全しましょう
- ・接道部の生垣化に努めましょう

関連ガイドライン

景観要素

松林

テーマ

平塚を風格づける松林

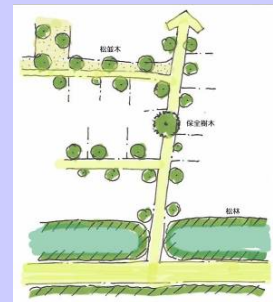


景観づくりの方向性

白砂青松の湘南海岸のイメージをそのまま残す、松林の緑を大切に維持します。

景観づくりのイメージ

市内の各地に残された松林は、平塚らしい風景と歴史を物語る貴重な緑として大切に守られています。

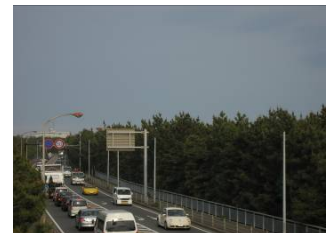
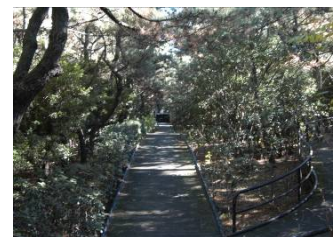


事例紹介

(左)
湘南海岸公園

(右上)
しおさいの森 (高浜台)

(右下)
国道134号沿いの防砂林



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

地域の資源として保全していく仕組みを
考えていくとともに、散策会などの
開催により貴重な松林の大切さを伝え
ていきます。

景観づくりキーワード

白砂青松
保安林
風致地区
平塚海岸のシンボル

関連景観要素シート

No. 9 No. 14 No. 22 No. 48 No. 49

都市・景観形成史

伊奈備前守忠次により慶長の頃から中原御殿をはじめ中原宿、平塚宿、八幡村、馬入村、須賀村、南原村に127町歩の植林が行われました。これを中原御林とよび、御林守数人に命じて厳重に管理しました。この松の木は、江戸城などの普請の際の用材として伐採・搬出されましたが、倒幕後は維新政府の管理に移り、明治21～22年にかけて東海道線の敷設に伴う駅舎建築用に使用する煉瓦を焼く燃料にするという名目で伐採されました。

海岸沿いの松林は、国道134号や住宅を守る防砂林・防風林として植えられました。

袖ヶ浜にある「扇の松」は、市内でもっとも有名な松の一つで、街を見守るシンボルのような存在です。

また市立松ヶ丘小学校のように校名の由来となっているところもあります。

**景観特性と課題**

松林の緑は、平塚海岸のシンボルとして、また平塚の歴史を今に伝える歴史遺産として、特徴的な景観を形成しています。

海から見ると、周辺市町と比べ、平塚海岸には豊かな松林が整えられていることが分かります。

一方、松林から突出した高さの建築物等、周辺に調和しないものも生じています。

市民の取り組み

海岸地域では、良好な住環境と自然環境を維持するため、いくつかの住民団体が設立され、マンション建設等に際する樹木の保存や環境保全等についての働きかけを行っています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 保全樹木等の指定【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 風致地区の指定【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連>

- ◎景観重要樹木◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・松林の歴史を考えてみましょう
- ・松という貴重な資源を大切にしましょう

関連ガイドライン

景観要素

並木道

テーマ

木漏れ日の並木道

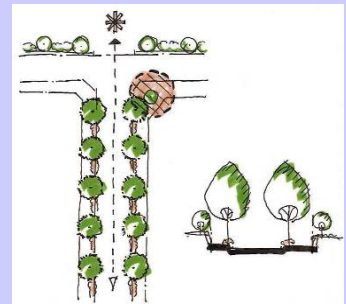


景観づくりの方向性

季節の移り変わりを感ずる愛着ある散歩道を創出します。

景観づくりのイメージ

緑のアーケードの下、鳥のさえずりを聞きながらのんびりと散歩できます。



事例紹介

(左)
ケヤキ並木 (東海大学)

(右上)
桜並木 (田村地区)

(右下)
メタセコイヤ並木
(総合公園)

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

並木道10選などを実施して、地域に潤いを与える空間づくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

緑の連続性
散歩道
ケヤキ並木
桜並木

関連景観要素シート

No. 13 No. 46 No. 47 No. 48 No. 49 No. 56

都市・景観形成史



江戸時代、東海道平塚宿と平塚新宿の間、平塚新宿と馬入村の間に松並木があり、平塚新宿の松並木近くに「並木屋」という屋号があった民家がありました。

市の街路樹植栽事業は、戦後から緑化事業の一環として始められ、昭和38年頃から各路線の特色と地域性に考慮して本格的に植栽が進められました。

景観特性と課題

東海大学のケヤキ並木や、河川沿いの桜並木など、市街地の緑により、四季折々の景観を楽しむことができます。
また、緑の拠点をつなぐ幹線道路沿いにも、沿道に並木が整えられています。

市民の取り組み

田村地区では、自治会による桜並木の美化活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 街路樹の植栽や緩衝帯の設置【平塚市（道路整備課）】
- ◆ 道路建設に伴う緑化及び花のふれあいスポット推進事業の推進【平塚市（道路整備課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・地域にふさわしい樹木を考えてみましょう
- ・並木道との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.15

景観要素

高麗山と 湘南平への眺望

テーマ

江戸から変わらぬ稜線

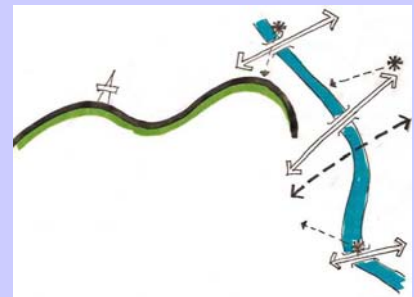


景観づくりの方向性

平塚らしさを特徴づける高麗山と湘南平の姿を、次代に大切に維持します。

景観づくりのイメージ

長くこの土地を離れていても、変わらぬ高麗山と湘南平の稜線を見た瞬間に「平塚に帰ってきたな」と実感できる風景が残されています。



事例紹介

(左)
桜ヶ丘から見た高麗山



(右上)
撫子原から見た高麗山



(右下)
旧東海道から見た高麗山



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

四季の高麗山写真コンクールの開催など、大切な景色を保全する意識を高めていきます。
ベンチの設置やハイキングコースの整備など高麗山の視点場の整備に取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

稜線
傾斜屋根
東海道五十三次

関連景観要素シート

No. 3 No. 5 No. 6 No. 9 No. 11 No. 19 No. 54 No. 56

都市・景観形成史

高麗山は、古い昔から徳川時代まで、高来神社と高麗寺所有の霊域として禁伐、保護されてきました。明治に入ると政府の御用林となり、その一部が県に下賜されましたが、戦時中の軍事利用や戦後の建築材として、樹木が伐採され、県有林の2/3がハゲ山となってしまいました。その後、松、杉、桧の植林が行われるとともに、残された自然林は、昭和47年に県の天然記念物に指定されました。また、昭和の初めに選ばれた平塚新八景の一つに、高麗紅葉（高麗山の紅葉）があります。



平塚宿西口見附の外に古花水の土橋があって、大磯宿に接していました。



広重画の平塚

景観特性と課題

平塚市の西部に位置する高麗山・湘南平は、平塚らしさを特徴づける景観となっており、高麗大橋や花水川の土手から見える高麗山は市民にも愛されています。また旧東海道から高麗山への眺望は、歌川広重による東海道五十三次に描かれるなど、たいへん古くから親しまれています。

市民の取り組み

地元の自治会や商店会等の会員により組織された「平塚宿まちなみ景観協議会」では、旧東海道から見える高麗山の眺望を地域の貴重な財産として守り伝えていきたいと、啓発活動を行っています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 高度地区の指定【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連> ◎景観計画◎景観地区○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることを

- ・豊かな緑と自然環境を大切に保全しましょう
- ・高麗山と湘南平への眺望に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.16

景観要素

富士山への眺望

テーマ

地域自慢の富士山が見えるまち



景観づくりの方向性

地域ごとに愛されている富士山の視点場を周知・保全します。

景観づくりのイメージ

市内各地には、地域自慢の富士山の視点場が選定され、これを周知することにより住民の手による富士見を活かした景観まちづくり活動が展開されています。

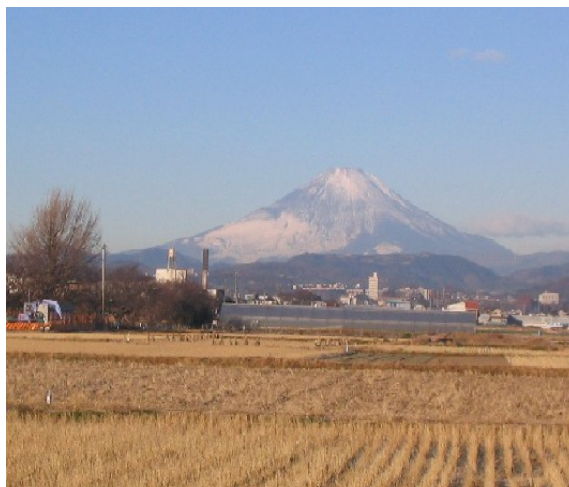


事例紹介

(左)
田園の富士 (寺田縄)

(右上)
遠藤原の富士

(右下)
湘南平の富士



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

富士山写真コンクールの開催や、富士見マップの作成などにより、地域自慢の富士山の景色を保全する意識を高めていきます。
ベンチの設置やハイキングコースの整備など富士山の視点場の整備に取り組んでいきます。

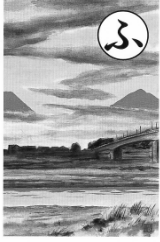
景観づくりキーワード

視点場 (眺望点)
傾斜屋根
関東の富士見百景

関連景観要素シート

No. 1 No. 3 No. 4 No. 5 No. 6 No. 7 No. 9 No. 11 No. 18 No. 21

都市・景観形成史



富士山
仰ぎて渡る
田村の渡し

市内には、富士見町をはじめ、河内や土屋、下島にも富士見や富士見野（ふじみ野）の地名があり、いずれも富士山の見晴らしが良い場所から名付けられたとされています。
平成17年には、市内で見ることのできる富士山の風景7ヶ所が「関東の富士見百景（*）」に選ばれました。

（*）富士山への良好な眺望を得られる地点を選定し、周辺の景観の保全や活用を通じて、美しい地域づくりを推進していくことを目的としています。平塚市で選定された地点は「金目川と観音堂」「湘南平」「七国峠・遠藤原」「馬入大橋周辺（湘南潮来）」「平塚大橋」「湘南銀河大橋」「花と緑のふれあい拠点（仮称）」です。



景観特性と課題

平塚市では、富士山や大山・丹沢連峰の山々など、市内の各所から多彩な眺望を楽しむことができます。
特に富士山への眺望は、関東の富士見百景に選定されるとともに、「平塚市では富士山に見える方角が西」と言われるほど、市民生活に浸透しており、田子嶺、大島、鷹匠橋、城所橋等地域ごとに自慢の富士見スポットがあります。
一方、田園部に点在する規模の大きい屋外広告物や資材の野積みなど、眺望景観を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

金目地区では、金目エコミュージアム事業の中で、地域からの富士見眺望を活かしたまちづくり活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 関東の富士見百景の取組【国土交通省・平塚市】
- ◆ 高度地区の指定【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連> ◎景観計画◎景観地区○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることを

- ・富士山の望める大切さを心に刻みましょう
- ・眺望に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.17

景観要素

大山・丹沢の 山並みへの眺望

テーマ

故郷の青い山並み



景観づくりの方向性

市内のどこからでも見渡せる山並みへの眺望を大切に維持します。

景観づくりのイメージ

市民の暮らしに根付く信仰の山「大山」、相模川や金目川のふるさとの山々「丹沢連峰」等のいつまでも変わらない故郷の山並みを毎日楽しみに眺めています。



事例紹介

(左)
金目からの山並み

(右上)
大神からの山並み

(右下)
浅間町からの山並み



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

ベンチの設置やハイキングコースの整備など大山・丹沢の視点場の整備に取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

山並み
傾斜屋根

関連景観要素シート

No. 3 No. 4 No. 7 No. 18 No. 55 No. 56

都市・景観形成史

大山は、関東一円から信仰を寄せられている名山であり、何もさげざる物がない相模平野から見る眺めがとても立派に見えるためか、平塚市では農耕神として、漁業神として、また祖霊の籠もる山として盛んに信仰されてきました。このため、市内各地には、大山道と称する古道が残され、道標をはじめとする石造物の数々が見られます。また、土沢地区などでは夏に大山灯籠を辻に立てる風習もあり、遠くから眺める姿だけでなく、街中に、また平塚市民の心の中に生き続けている風景です。また、明治末期の平塚八景の中に、雨降晴嵐（大山）と丹沢暮雪（丹沢山）が、昭和の初めの平塚新八景の中に、雨降遠山（大山）が、平塚の名勝としてあげられています。



景観特性と課題

富士山とならんで大山や丹沢連峰の山々への眺望も、市内の各所から望むことができます。一方、田園部に点在する規模の大きい屋外広告物や資材の野積み、大規模建築物・工作物など、眺望景観を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

土沢地区などでは、夏に大山灯籠を辻に立てる風習が、地域の人たちの手によって大切に守り伝えられています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度> ◆ 高度地区の指定【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連> ◎景観計画◎景観地区○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること
 ・大山・丹沢の山並みへの眺望に配慮した高さや
 デザインを採用しましょう

関連ガイドライン

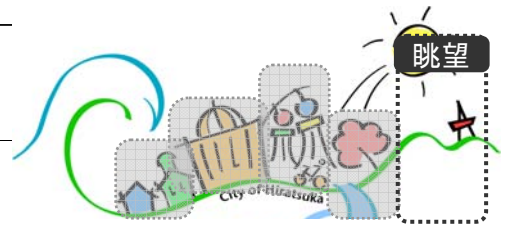
No.18

景観要素

湘南平からの パノラマ（夜景）

テーマ

360°の大パノラマ

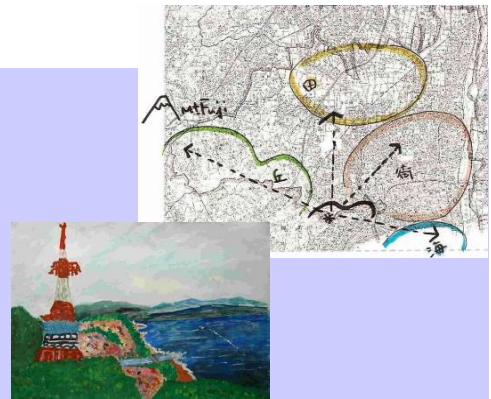


景観づくりの方向性

市内を一望できる貴重な眺望地点として、維持、保全します。

景観づくりのイメージ

湘南平から見下ろす平塚の夜景は、計画的に演出された街路灯の灯りにより、巨大な地上絵が浮かびあがって見えます。



事例紹介

(左)
南東方向の眺め

(右上)
北東方向の眺め

(右下)
湘南平からの夜景



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

夜景の美しさのPR活動や、視点場としての修景整備に取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

夜景（街路灯・イ
ルミネーション）
星空

関連景観要素シート

No. 16 No. 17 No. 60 No. 62 No. 70

都市・景観形成史

星に手が届きそうだよ
湘南平

昭和32年、市制施行25周年記念の祝賀を、市内万田の丘陵「千畳敷」で行いました。当時の戸川平塚市長が観光開発と市民の公園にする構想として、「湘南平」と命名し、造成を行いました。
昭和47年に放送を開始したTVK(テレビ神奈川)の平塚中継局のテレビ塔(高さは約70m)が建設されました。



余綾の丘陵上から見た古くから遠く陸奥に通じる相模野 湘南平(市制40周年記念誌)



湘南平からの富士

景観特性と課題

湘南平からの眺望は、平塚市をとりまく自然地形や都市の成り立ちの特徴を一望することができ、平塚市民だけでなく、平塚市を訪れる多くの人々にも大変親しまれています。
また、昼間だけでなく、夜間景観(夜景)も多くの人々に楽しまれています。

市民の取り組み

万田地区では、住民による湘南平浅間山の彼岸花と水仙の管理が行なわれています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・湘南平から望む美しいまちを想像してみましょう
- ・湘南平からのパノラマを演出するデザインを考えましょう

関連ガイドライン

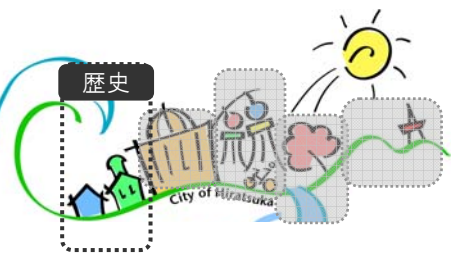
景観要素

東海道と平塚宿

テーマ

宿場町のなごりを感じる道すじ

歴史

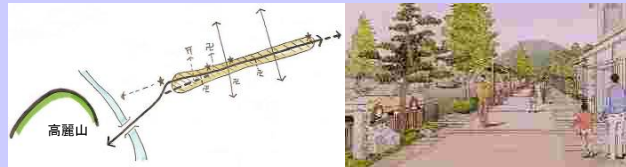


景観づくりの方向性

旧東海道の宿場町の歴史が感じられるまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

旧東海道筋では、地域住民が協力して各家々のセットバック等を行い江戸時代の旅人が見た高麗山の眺望を守っています。また、町中のそこかしこに点在するモニュメントやまちなみからは宿場町の歴史が感じられます。



事例紹介

(左)
京方見附

(右上)
平塚の塚緑地

(右下)
江戸見附でのコグマザサ
植付け風景

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

東海道本通り筋に点在する史跡周辺に松の木を植えるなど、宿場町の雰囲気づくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

生垣
東海道の松並木
街道筋
宿場町
高麗山への眺望
傾斜屋根

関連景観要素シート

No. 16 No. 26 No. 33 No. 49 No. 57 No. 59 No. 63

都市・景観形成史



ルネッサンス
21世紀の
江戸見附

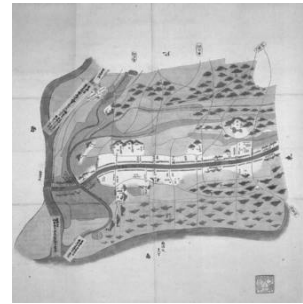
平塚宿は、江戸より七つ目の宿場にあたり、高座郡藤沢宿から相模川を越え、馬入村に入り、次いで平塚新宿、そして平塚宿になります。平塚宿は慶長六年(1601)に成立します。隣接する洵綾郡大磯宿までは27町(約3km)の道のりで、県下でも宿と宿との間が最も短い宿場でした。

宿は東海道沿いに左右帯状に家並みが続き、その長さは加宿である平塚新宿を含め、19町5間(約2km)、街道を挟んだ南側は御林が海辺まで連なり、北側は田畑と御林でした。宿は江戸方より十八軒町、二十四軒町、東仲町、西仲町、柳町の五町構成されます。このうち、二十四軒町は加宿平塚新宿から二十四軒が移住して、この名が付いたといわれます。

その後、時代を経ながらその賑わいを受け継ぐ中心商業地へと変遷してきました。



平塚宿東口見附(藤井白映氏 画)



文化八年 平塚宿絵図

景観特性と課題

旧東海道および旧街道筋には本陣跡や問屋場跡など多くの史跡等が残されており、平塚市の歴史や成り立ちを今に伝えています。

一方、周囲と調和しない屋外広告物や捨て看板や張り紙、放置自転車など、景観を阻害する要素も見られます。

市民の取り組み



平塚市景観計画において景観重点地区『歴史軸』に指定された平塚宿では、地域内の自治会や商店会等の会員により、平塚宿まちなみ景観協議会が組織され、「旧東海道沿いの緑と歴史のまちなみづくり」に向けて、フォーラムや景観整備の検討、江戸見附や平塚の塚緑地の清掃等に取り組んでいます。また、平成18年には、東海大学との協働で、『平塚宿まち歩きマップ』を作成しました。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 平塚市景観計画における景観重点地区の推進
【平塚市(まちづくり政策課)】

<今後の取り組み>

- ◎景観計画◎景観地区◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・街道筋や宿場町としての歴史を大切にしましょう
- ・高麗山への眺望に配慮したデザインを採用しましょう
- ・旧東海道沿いにふさわしいデザインを考えましょう

関連ガイドライン

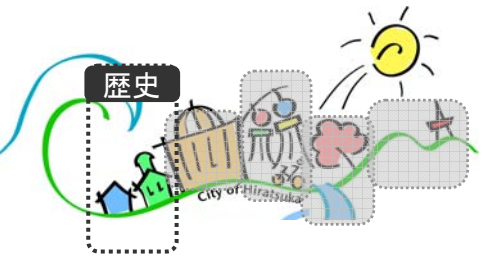
景観要素

大門通りと平塚八幡宮

テーマ

赤い鳥居につながる賑わい通り

歴史



景観づくりの方向性

八幡宮に向かう参道の歴史を活かした商店街の賑やかさを創出します。

景観づくりのイメージ

緑の森と赤い鳥居に突き当たる参道の両側は、古い情緒と最新の流行が同居する商店が軒を連ね、縁日的な賑わいが続いています。



事例紹介

(左)
八幡宮例大祭



(右上)
大門通り



(右下)
大門通りと神輿



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

骨董市の開催や、参道を活かした七夕まつりなど、歴史を感じるイベントを企画し、縁日的な賑わいを復活させていきます。

景観づくりキーワード

参道
縁日
ショーウィンドウ

関連景観要素シート

No. 33 No. 49 No. 59 No. 60 No. 69

都市・景観形成史

平塚八幡宮の表参道で、旧東海道までを八幡大門といい、四つ角から南を浜大門といいました。明治20年平塚停車場開業以来、平塚新宿に商店が建ち並びはじめました。最初は停車場付近の厚木道と浜大門が繁盛し、次いで八幡大門に中心が移り、大正中期から東海道筋に変わりました。



八幡大門・明治41年(市制40周年記念誌)



景観特性と課題

平塚八幡宮の森は八幡山公園と共に、中心市街地のオアシスとなっており、四季折々の花木が楽しめます。8月には薪能(たきぎのう)が開催されるなど、歴史を感じさせる空間となっています。また緑の杜と赤い鳥居に突き当たる大門通りは、歴史を感じさせるシンボリックな景観を作り出しています。しかし、大門通りが国道1号などの幹線道路と交差し分断するなど、歴史を感じることができないという市民意見もあります。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。また「平塚をみがく会」は、市内の落書き消し等の活動に積極的に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 駅前参道修景の促進【平塚市(まちづくり政策課)】

<今後の取り組み>

◎景観計画◎景観地区◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

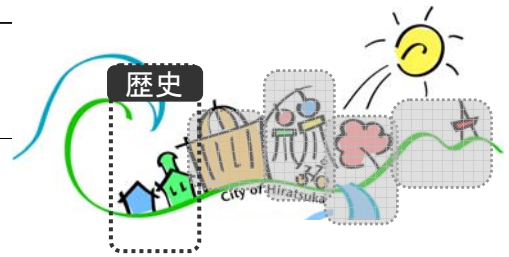
- ・平塚八幡宮の参道という歴史を大切にしましょう
- ・賑わいと統一感のあるデザインを考えましょう
- ・1階店舗部分は、賑わいを演出する
ショーウィンドウ化やオープン化を工夫しましょう

関連ガイドライン

景観要素

金目観音と
その周辺の街並み

テーマ

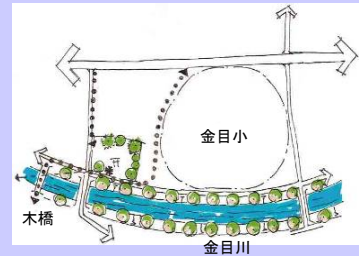
重層的な歴史・文化を
感じるまちなみ

景観づくりの方向性

歴史・文化を今に伝える、落ち着いた風格あるまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

素朴で落ち着いたまちなみの中に観音堂や地域の歴史を伝える数々の史跡が溶け込んでいます。



事例紹介

(左)
金目川と観音堂(右上)
山門前(右下)
金目観音堂景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

歴史を感じさせる古い地名などを示した絵地図や道しるべを作成したり、イベントを開催していきます。

景観づくりキーワード

歴史的建造物との調和
落ち着いた街並み
金目川

関連景観要素シート

No. 2 No. 5 No. 6 No. 16 No. 70

都市・景観形成史



仁王様
守る金目の
観音堂

金目観音堂は、坂東七番目の札所で、大宝二年(702年)創建と伝えられ、本尊を納めた厨子は国の重要文化財に指定されています。現在の本堂は明応七年(1498年)に建立され、元禄と昭和に大きな解体修理が行われました。

またこの地域は、「明治の文化村」とも呼ばれ、活発な自由民権運動をはじめ、政治運動の枠を越えた地域住民の生活全般にわたる様々な文化活動が行なわれ、後の平塚農業高校、秦野高校のもととなった三郡共立学校や平塚盲学校の前身である私立中群盲人学校が創立されました。現在、この地域に数多く残された文化遺産や自然環境を活かした金目エコミュージアム構想(金目まるごと博物館)が、住民の手で進められています。



金目村の光明寺観音堂
(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

金目観音堂は板東第七番札所として有名で、本尊は平安時代の作といわれる聖観世音菩薩立像です。

堂の前には金目川が流れ、その堤は春になると満開の桜でいっぱいになります。

また、土手から望む高麗山の景色と水神橋から望む丹沢、大山の夕景は特徴的な景観となっています。

市民の取り組み

金目地区の住民が中心となり、金目エコミュージアム構想(金目まるごと博物館)が進められています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 金目エコミュージアム構想【平塚市(社会教育課)】

<今後の取り組み>

◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・金目観音堂をはじめとする歴史的建造物を大切にしましょう
- ・周囲の田園風景や、富士山を望める大切さを心に刻みましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

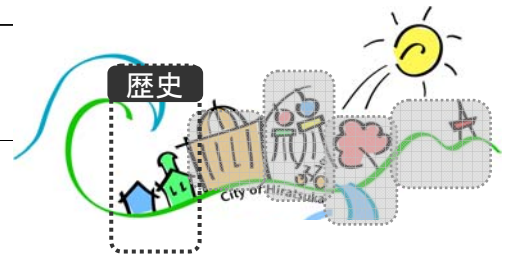
関連ガイドライン

景観要素

御林と中原御殿

テーマ

中原御殿の記憶を
とどめるまちなみ

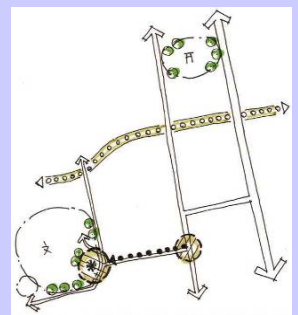


景観づくりの方向性

御林の緑や古い道すじとともに、歴史の流れを感じる空間を創出します。

景観づくりのイメージ

御林や中原御殿の名残を今に伝える日枝神社の杜や大手道とともに、往時を偲ばせるモニュメントが街角に点在しています。



事例紹介

(左)
中原御殿跡 (中原小学校)

(右上)
中原御殿の大手道

(右下)
谷川堀跡



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

中原御殿の掘割や御林、大手道など、地域の歴史を感じられるような空間づくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

松
生垣
古道

関連景観要素シート

No. 12 No. 29 No. 45 No. 51 No. 59

都市・景観形成史

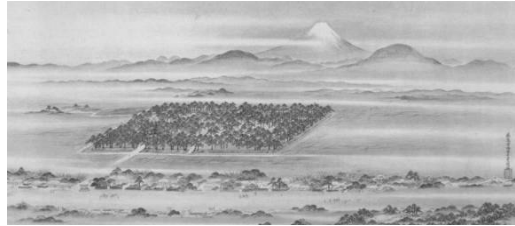


中原御殿
徳川幕府の
基礎を練り

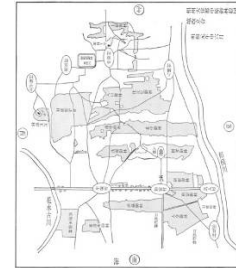
江戸時代の平塚は、緑樹地帯でした。この森林は徳川家康の命を受けて植栽したことに始まると伝えられ、平塚宿、平塚新宿、須賀村、馬入村、八幡村、中原宿、南原村、平塚海岸までおよび、中原御林と呼ばれていました。

御殿は家康公が鷹狩りや、江戸と駿府往来の途次に宿泊しました。明暦3年、60有余の歳月を経た御殿は、惜しくもお引き払いとなりました。御殿の跡である市立中原小学校の正門の近くに相州中原御殿之碑があります。

中原は御殿の勝地にとどまらず、この地方に与えた影響は大きく、江戸時代初期の大住郡の行政、中原御林、中原街道など皆この地より発したといわれています。



江戸時代の末期、長谷川雪堤が描いた中原宿と御殿跡の東照宮



中原御林絵図

景観特性と課題

「雲雀野（ひばりの）御殿」の別名を持つ中原御殿は、徳川家康が鷹狩りや江戸と駿府の往来の度に宿泊したところです。その中原御殿の名残を今に伝える日枝神社などの松林や大手道など、都市の記憶が蓄積するまちなみが残っています。

市民の取り組み

中原地区では、町内会連合会が主体となり、東照権現祭りと鷹狩り行列を開催しています。また、かつて中原御殿や代官屋敷の水濠であった谷川堀雨水幹線水路は、地域住民によるワークショップによりコミュニティ道路としての計画案が検討され整備されました。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 地域の歴史再発見事業【平塚市（社会教育課）】

<今後の取り組み>

◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに
・御林と中原御殿の歴史を考えてみましょう

関連ガイドライン

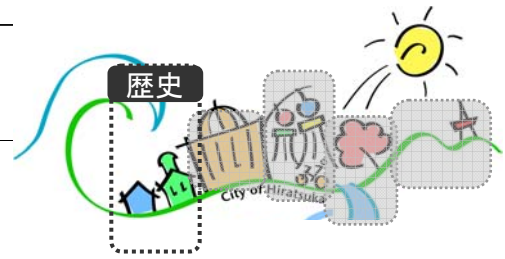
No.23

景観要素

地域の社寺や長屋門 などの歴史資源

テーマ

暮らしの中に息づく歴史



景観づくりの方向性

地域の歴史を伝える社寺等を身近なランドマークとして保全します。

景観づくりのイメージ

家並みの向こうに見える大きな萱屋根（いらかやね）は、地域の歴史を伝えるシンボルとして、また地域のコミュニティの場として住民に親しまれ、大切に守られています。



事例紹介

(左)
三嶋神社（夕陽ヶ丘）

(右上)
長屋門（土屋）

(右下)
不動院（北金目）



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

歴史を伝える社寺などをまとめた絵地図を作成したり、ふるさとの歴史を再発見するイベントを開催していきます。

景観づくりキーワード

萱屋根
地域のシンボル
古地名

関連景観要素シート

No. 12 No. 59

都市・景観形成史

市内には、律令国家の時代に相模国府があったといわれる古代、「吾妻鏡」にはすでに「平塚」の地名が見られる鎌倉期、須賀湊の賑わい、大山道や脇往還といった交流の道、鉄道開通を機に目覚ましい発展をとげた明治期、そして戦災と復興など、数々の歴史や文化、そして人々の暮らしの中に息づく寺社や史跡などが数多く残されています。



景観特性と課題

奈良時代、相模国の国府が置かれていた四之宮は、古代東海道が通る交通の要衝で、行政、経済、文化の中心地でした。田村の地は古く平安時代初期、征夷大將軍となり東北地方の征伐に活躍した坂上田村麻呂にゆかりの地といわれます。江戸時代には大山街道を通して大山に向かう人で賑わった田村の渡しですが、1953年(昭和28)に神川橋が架かるまで、庶民に利用されていました。また、相模川の下流域は馬入川と呼ばれており、東海道を往来する旅人は馬入の渡しで、船に乗り川を渡りました。その他、市内各地の社寺や長屋門、木橋など地域生活に密着した身近な歴史資源が点在し、地域の個性を特徴付ける景観を創出しています。

市民の取り組み

神社境内の花壇づくりや清掃、史跡の管理が、地域の自治会や住民の手で行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 指定・登録文化財制度【国・神奈川県・平塚市（社会教育課）】

<今後の取り組み>

◎景観重要建造物◎景観重要樹木○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・地域に点在する歴史資源を大切にしましょう
- ・歴史資源との調和に配慮したデザインを考えましょう

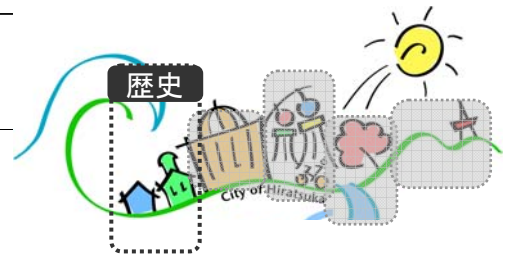
関連ガイドライン

No.24

景観要素

近代遺産

テーマ

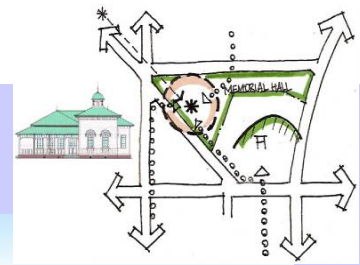
近代の足跡を
今に伝える建築物

景観づくりの方向性

平塚の近代史を伝える貴重な歴史的建造物として保全・活用します。

景観づくりのイメージ

旧横浜ゴム平塚製造所記念館をはじめとする近代遺産は、昭和の歴史を語り継ぐ建物として、また街なかのシンボルとして人々から愛着を持って活用されています。



事例紹介

(左)
横浜ゴム記念館 (移築前)

(右上)
歴史的住宅建築物
(松風町)

(右下)
歴史的別荘建築物
(董平)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

近代遺産の発掘イベントなどを開催し、平塚に残る貴重な建築物を保存・活用する取り組みを進めます。

景観づくりキーワード

旧横浜ゴム平塚
製造所記念館
海軍火薬廠
鉄道跡
ヘリテージング

関連景観要素シート

No. 26

都市・景観形成史

旧横浜ゴム平塚製造所記念館は、明治39年ごろに創建された木造洋風建造物で、洋風建造物としては平塚市内では最も古く、神奈川県下でも数少ない明治時代の遺構です。

平成16年に横浜ゴム株式会社から平塚市に譲渡されたことを受け、将来に遺すべき貴重な財産として移築保存と活用を図っていくこととなりました。



日本火薬製造会社の支配人室と正門(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

旧横浜ゴム平塚製造所記念館などの近代化遺産、産業遺産、海軍火薬廠などの軍事遺産も時代を特徴付ける景観を創出しています。

火薬廠跡にできた旧横浜ゴム平塚製造所記念館は市内唯一の明治時代の洋風建造物として、市民に愛される建物として将来に渡って活用されるよう、建物の保存に取り組んでいます。

市民の取り組み

市内の代表的な近代遺産である旧横浜ゴム平塚製造所記念館では、市民ボランティアの協力により、市民に愛される文化発信と憩いの場となるような取り組みが進められています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 歴史的建造物の保存と活用【平塚市（社会教育課）】
- ◆ 国登録有形文化財【国（文化庁）】
- ◆ 邸園文化圏再生構想【神奈川県】

<今後の取り組み>

- ◎景観重要建造物 ○景観協議会 ○景観整備機構 ○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・地域に眠る近代遺産を大切にしましょう
- ・近代遺産の活用を検討してみましょう

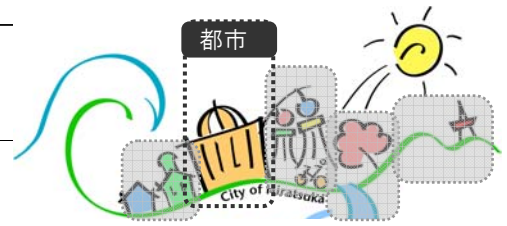
関連ガイドライン

景観要素

旧別荘地

テーマ

かつての佇まいを残すまち



景観づくりの方向性

別荘地の面影を受けつぐ閑静な戸建て住宅を保全し、緑と一体となったまちなみ景観を守っていきます。

景観づくりのイメージ

重要な建築物や樹木について積極的に登録、指定が行われ、良好な松林が残る閑静な住宅地のおもかげを残しています。



事例紹介

(左)
松のある住宅地の風景
(袖ヶ浜)

(右上)
共同住宅の緑地 (松風町)

(右下)
扇の松 (袖ヶ浜)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

景観に配慮した住宅づくり、自慢の庭や生垣づくり、地域のまちづくり活動などを広く紹介したり、他の模範となるような事例を表彰していきます。また、松などの緑を残していくための維持管理方法などを検討していきます。

景観づくりキーワード

松林・松並木
生垣
保全樹
傾斜屋根

関連景観要素シート

No. 12 No. 48 No. 50 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

明治20年平塚停車場が開業してから、平塚の清涼温かな松林の海岸地域が住宅別荘地として注目されました。明治29年杏雲堂分院が設立されたのを始めとし、作家村井弦斎、軍人野津道貫らが居住しました。大正に入り詩人河井醉茗、作家中勘助が転居し、政治家小川平吉が別荘を構えました。



海岸住宅地(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

松風町周辺など、海岸部の旧別荘地では、かつての佇まいを残す落ち着きある住宅地景観が見られます。しかし、邸宅跡地が小規模宅地に細分化されるなどにより、松林の緑も失われつつあります。旧別荘地ならではの住宅地景観を保全・育成していくための地域住民の意識の高まりに応じたルールづくりが求められます。

市民の取り組み

年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行われています。旧別荘地では、良好な住環境と自然環境を維持するため、いくつかの市民団体が設立され、マンション建設等に際する樹木の保存や環境保全等についての働きかけを行っています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 生垣の設置促進’ いけがき設置補助’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 保全樹木の指定 【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 風致地区の指定 【平塚市（まちづくり政策課）】
- ◆ 高度地区の指定 【平塚市（まちづくり政策課）】
- ◆ 邸園文化圏再生構想 【神奈川県】

<景観法関連> ◎景観計画◎景観重要建造物◎景観重要樹木○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・地域に残る貴重な樹木を保全しましょう
- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.26

景観要素

旧市街地（戦災復興）

テーマ

戦災復興により生まれた
まちなみの保全

景観づくりの方向性

戦災復興等の土地区画整理事業による整然とした道路に沿って、戸建て建築物や中層建築物が立ち並ぶ風格あるまちなみ景観を形成します。

景観づくりのイメージ

沿道におけるルールづくりや地域の重要な建築物、樹木について積極的に登録、指定が行われ、整った街路など復興の歴史を語り継ぐまちなみ空間が引き継がれています。



事例紹介

(左)
平塚四丁目付近



(右上)
なぎさプロムナード沿いの住宅地



(右下)
東海道本通り沿いの商業地



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

景観に配慮した住宅づくり、自慢の庭や生垣づくり、地域のまちづくり活動などを広く紹介したり、他の模範となるような事例を表彰していきます。

景観づくりキーワード

整然とした道路
街路樹
保全樹
生垣

関連景観要素シート

No. 19 No. 24 No. 50 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

平塚市は、昭和20年7月16日の空襲で、旧市街の314ヘクタールが焦土と化しました。このため神奈川県は、昭和21年に平塚都市計画事業復興都市区画整理事業を行うことを内閣総理大臣に命じられて事業に着手しました。その後、21年の歳月を要して昭和42年に完了しました。



復興成った平塚の市街地(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市街地中央部では、戦災復興土地区画整理事業により基盤が整えられた旧市街地が広がり、整然とした骨格をもとに住宅地景観が形成されています。道路等は整備されているものの、周辺から突出した高さの高層建築物や屋外広告物、電線なども見られます。都市基盤の美しさを活かした住宅地景観を形成するための地域住民の意識の高まりに応じたルールづくりが求められます。

市民の取り組み

年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行なわれています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 生垣の設置促進’ いけがき設置補助’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・整備された街路との調和を図りましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.27

景観要素

新興市街地

テーマ

新たな景色と風格を育むまち



景観づくりの方向性

地域特性に応じたルールづくりにより、統一されたまちなみ景観を形成します。

景観づくりのイメージ

地区計画や景観協定等のしくみが活用され、調和のとれたデザインの建物や緑あふれる敷地が連なる住宅地が形成されています。



事例紹介

(左)
めぐみヶ丘



(右上)
日向岡



(右下)
おおねウッドパーク
(真田)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

景観に配慮した住宅づくり、自慢の庭や生垣づくり、地域のまちづくり活動などを広く紹介したり、他の模範となるような事例を表彰していきます。

景観づくりキーワード

統一感のある街並み
生垣
緑の連続性

関連景観要素シート

No. 1 No. 2 No. 3 No. 50 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

昭和40年代の後半に岡崎地区（ふじみ野）に新興住宅地が造成されたのははじめ、以後、真田、日向岡、めぐみが丘など、旭地区、土沢地区で大規模な新興住宅地が誕生しています。

諏訪町の大部分は、旧小田原藩主大久保家の所有地でしたが、大正時代、宅地の造成を行い、その中央に公園と諏訪神社をまつり、縦横の道路を設け、理想的な住宅地を作りました。
諏訪町(市制40周年記念誌)

**景観特性と課題**

めぐみが丘やおおねウッドパークなど、新たな風景を創出する新興住宅地は、緑を活かした住宅地景観が形成されています。その一方で、丘陵部の緑を分断している側面も全くないとは言えません。そのため、緑の連続性に配慮した、住宅地景観の保全・育成が求められます。

市民の取り組み

年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行われています。めぐみが丘の新興住宅地では、自治会ほか各団体等により、美化推進モデル地区活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 生垣の設置促進’ いけがき設置補助’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 保全樹木の指定【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ◎景観計画◎景観重要樹木○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・統一感のあるデザインとし、まちなみの個性をつくりましょう

関連ガイドライン

景観要素

集合住宅地

テーマ

地域と調和した住宅団地

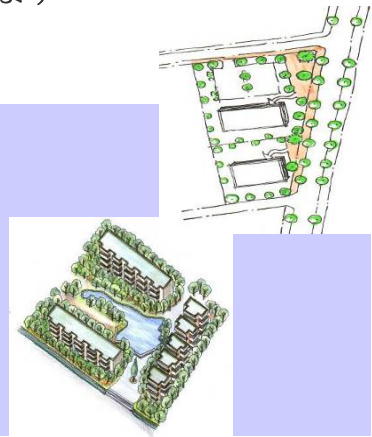


景観づくりの方向性

ゆとりをもった建物の配置により、周囲の環境と調和した落ち着いたきのあるまちなみ景観を形成します

景観づくりのイメージ

地域の緑地となるような豊富な緑の中に規模、配置、形状、色彩に配慮された建物がバランス良く配置されています。



事例紹介

(左)
浅間町の集合住宅

(右上)
横内の集合住宅

(右下)
高浜の集合住宅

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

景観に配慮した住宅づくり、自慢の庭や生垣づくり、地域のまちづくり活動などを広く紹介したり、他の模範となるような事例を表彰していきます。また、広場や緑、ごみ集積所の配置などのガイドラインづくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

周辺環境との調和
緑地
オープンスペース

関連景観要素シート

No. 50 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

100戸を超える住宅団地は、市営では、昭和40～50年代にかけて岡崎住宅をはじめ東中原、龍城ヶ丘、田村、宮の前と建設され、平成12年からは万田貝塚住宅の建替整備を実施しています。県営では、昭和42年～45年に1,000戸を超える横内団地が、昭和53～54年度には600戸超の平塚山下団地が建設されました。

その他、高村団地が昭和51年に建設され、昭和32年に建設された平塚団地は、平成9年～13年にかけて戸数332戸のコンフォール平塚として建替整備されました。



高村団地完成(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

高村団地、山下団地、横内団地など地域の風景に溶け込んだ集合住宅地が、まとまりのある住宅地景観を形成しています。一方で、周辺から突出した高さや色彩の建築物など、住宅地景観としてのまとまりをくずす要因が生じてきています。地域の特性にあった住宅地景観を保全・育成していくための地域住民の意識の高まりに応じたルールづくりが求められます。

市民の取り組み

年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行なわれています。また、自治会等が主体となって団地内の花壇づくり等を行っている集合住宅地があります。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆街路樹や緩衝帯の設置推進【国、県、平塚市】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

景観要素

一般的な住宅地

テーマ

暮らしやすい、潤いのあるまち

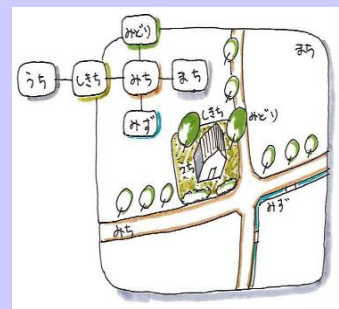


景観づくりの方向性

市民一人ひとりが景観づくりの担い手となり、美しいまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

良好な景観づくりの紹介や勉強会、ガーデニング賞の創設など、市民の取組みを支援する様々なしくみが創設され、ボランティア活動の推進など、地域全体での景観づくりが進められています。



事例紹介

(左)
田村(右上)
中堂(右下)
千石河岸景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取組み
も考えられます！)

景観に配慮した住宅づくり、自慢の庭や生垣づくり、地域のまちづくり活動などを広く紹介したり、他の模範となるような事例を表彰していきます。また、庭づくりなどのパンフレットを作成し、PRしていきます。

景観づくりキーワード

住民主体の景観
まちづくり
生垣
ガーデニング

関連景観要素シート

No. 22 No. 50 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

都市計画法の用途地域で、市内の住居系用途の変遷を見ると、最初に指定された昭和13年の住居地域は405ha、住居地域が3種類に指定替された昭和48年は1,998ha、さらに7種類に指定替された平成8年は2,087haであり、平成16年度末現在では、2,076haとなっています。



市街地の住宅・昭和10年ごろ
(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

一般的な住宅地においては、生垣やガーデニング、地域の美化活動など、地域住民の自主的な取り組みによって、潤いのあるまちなみを随所で垣間見ることができます。地域住民の意識の高まりに応じた良好な住宅地景観を形成するための適切な支援の仕組みやルールづくりが求められます。

市民の取り組み

年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行われています。また、建物周りの花壇づくりや季節の花のプランター設置といった清掃美化活動に取り組んでいるマンション自治会があります。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 生垣の設置促進’ いけがき助成制度’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ○景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

景観要素

相模川沿いの工業地

テーマ

平塚を支えるライン



景観づくりの方向性

敷地内や外周の緑化、修景により、雄大な相模川沿いにふさわしい美しいデザインを創出し、市民に親しみの持たれる開かれた工場地景観を形成します。

景観づくりのイメージ

相模川という雄大な自然景観に配慮され、相互の調和が図られている大規模な建築物が工業地群としての景観の魅力を高めています。また、地域にふさわしい樹木、花々の植栽やポケットパークの創出などにより、親しまれる空間づくりが進められています。



事例紹介

(左)
田村

(右上)
四之宮

(右下)
四之宮 (下水処理場)



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

相模川沿いに相応しい緑化や色彩等のガイドラインづくりに取り組んでいきます。
平塚の工場景観を広くPRしていきます。

景観づくりキーワード

並木
外周の緑化や生垣化
ショーウィンドウ

関連景観要素シート

No. 4 No. 14 No. 67

都市・景観形成史

昭和40年に相模川沿岸の土地区画整理事業による馬入工業団地が完成し、豊富な工業用地に積極的な企業誘致を行った結果、化学工業・金属製品製造業・一般機械器具・電気機械器具・輸送用機械器具などの工場が次々と立地しました。昭和40年代から昭和60年代の間に大神工業団地、東工業団地、東八幡工業団地を造成しました。



景観特性と課題

相模川沿いに集積する大規模な工場群が創り出す工業地景観は、雄大な相模川の景観と相まって、平塚市の景観の特徴の一つとなっています。工場の壁面緑化や敷地内の緑化など、これまで進められてきた、市民に親しみやすい潤いある工業地景観づくりの取り組みを、より一層推進していくことが大切です。

市民の取り組み

市内では、沿道や敷地内の緑化に積極的に取り組む工場や事業所が、年々増加しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 事業所等の緑化の促進【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連>

◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・外周部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・川沿いにふさわしい連続した植栽(並木)を意識しましょう
- ・オープンスペースの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

景観要素

幹線沿いの工業地

テーマ

花とみどりのある工業地

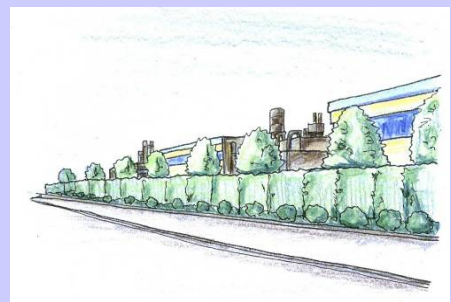


景観づくりの方向性

周辺の環境や街路樹と調和した、緑豊かな潤いある工場地景観を創出します。

景観づくりのイメージ

街路樹の緑を引き立たせるような、美しい建築物のデザインと、市民に親しまれている花等の植栽による緑豊かな工業地が形成され、接道部の魅力的な空間演出が進められているとともに、周囲に圧迫感を与えない建物づくりが行われています。



事例紹介

(左)
県道大島明石線 (西八幡)

(右上)
県道大島明石線 (新町)

(右下)
テクノロード (四之宮)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

地域に相応しい緑化や色彩等のガイドラインづくりに取り組んでいきます。平塚の工場景観を広くPRしていきます。

景観づくりキーワード

並木
外周の緑化や生垣化
街路樹
ショーウィンドウ
ポケットパーク
屋上緑化

関連景観要素シート

No. 14 No. 46 No. 67

都市・景観形成史

大正8年、日本爆発物製造会社を海軍省が買収し、海軍火薬廠として終戦まで存在しました。

昭和23年、大野町内の旧海軍火薬廠跡に、パイロット万年筆が戦災を受けた工場の代替工場を新設したのを始めとし、続いて各企業が進出しました。



パイロット万年筆平塚工場
(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

大島明石線（通称パイロット線）などでは、幹線道路沿いの大規模な工場群が特徴的な工業地景観を形成しています。

塀で囲まれるなど閉鎖的な景観もみられる一方、万年塀の生垣化に取り組み、市民の評価を得ている工場も見られます。

工場の壁面緑化や敷地内の緑化など、これまで進められてきた、市民に親しみやすい潤いある工業地景観づくりの取り組みを、より一層推進していくことが大切です。

市民の取り組み

市内では、沿道や敷地内の緑化に積極的に取り組む工場や事業所が、年々増加しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 事業所等の緑化の促進【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連>

◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・外周部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・幹道沿いにふさわしい連続した植栽を設置しましょう
- ・オープンスペースやショーウィンドウの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

No.32

景観要素

市街地に
点在する工業地

テーマ

地域と共存する工場

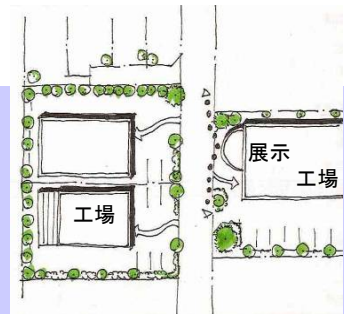


景観づくりの方向性

地域の魅力を高めるような親しみのある工場景観を創出します。

景観づくりのイメージ

地域の魅力を高めるようなオープンスペースや展示スペースの創出が図られるとともに、周囲に圧迫間を与えないデザインの工場景観が形成されています。



事例紹介

(左)
達上ヶ丘の工場



(右上)
西八幡の工場



(右下)
黒部丘の工場

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

地域に親しまれる緑化や色彩等のガイドラインづくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

外周の緑化や生垣化
ショーウィンドウ
ポケットパーク
屋上緑化

関連景観要素シート

No. 29 No. 51 No. 57

都市・景観形成史

黒部丘の日本たばこ産業㈱の工場は、葉煙草の原料を製造する日本専売公社平塚原料工場として昭和12年(1937)に現在地に設置されました。

景観特性と課題

東豊田工業団地では、周辺環境と調和のとれた良好な地域環境を形成・保全するため、平成7年に、東豊田地区地区計画(約22.3ha)を定めています。

緑地・緑道・植栽帯などを設けるとともに、建築物の高さの最高限度、屋根・外壁などの色合いやフェンスについて制限を行っています。市民に親しみやすい潤いある工業地景観づくりの取り組みを、より一層推進していくことが大切です。

市民の取り組み

市内では、沿道や敷地内の緑化に積極的に取り組む工場や事業所が、年々増加しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 事業所等の緑化の促進【平塚市(みどり公園・水辺課)】

<景観法関連>

◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・ショーウィンドウの設置を推進しましょう
- ・周辺住宅の生活環境へ配慮しましょう

関連ガイドライン

No.33

景観要素

平塚駅周辺中心商業地

テーマ

にぎわいの中心商店街

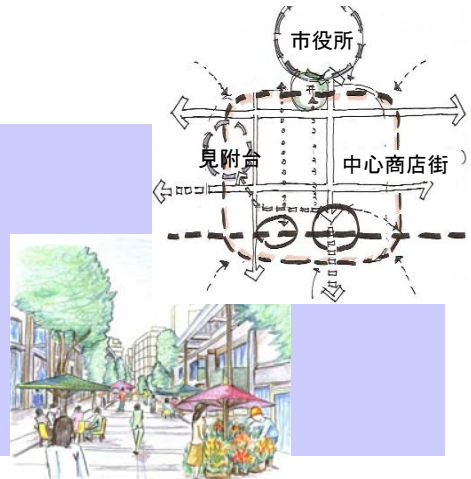


景観づくりの方向性

市民が誇れるひらつかの顔としてのシンボル性のある賑やかな商業空間を創出します。

景観づくりのイメージ

地区計画や景観協定等を活用し、店舗デザインのルールづくりやオープンカフェなど、老若男女が集える、清潔で、楽しく、美しいまちなみづくりが進められています。



事例紹介

(左)
湘南スターモール

(右上)
紅谷パールロード

(右下)
平塚駅周辺



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

店舗コンクールなどと連携した店舗・看板部門の「景観賞」の設置を行うなど、平塚駅周辺中心商業地としての、「賑わいと活気のある」デザイン文化を育成していきます。

景観づくりキーワード

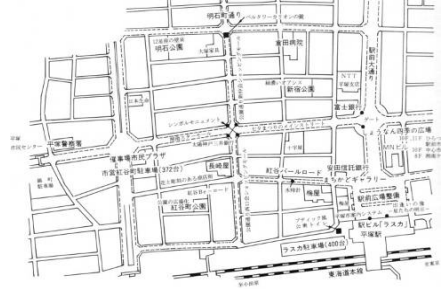
- 平塚市の顔
- セットバック (壁面後退)
- 街路樹
- シンボルツリー
- 広告物
- ショーウィンドウ
- パブリックアート
- 交流

関連景観要素シート

No. 19 No. 20 No. 47 No. 49 No. 58 No. 60 No. 61 No. 62 No. 63
No. 68 No. 69

都市・景観形成史

明治20年に平塚停車場が開業以来、平塚新宿に商店が建ち並びはじめ、初めは厚木道と浜大門の停車場東通りと西通りが繁昌し、次いで八幡大門が中心となりました。大正中期からは東海道筋に移り、関東大震災以後は東海道に沿った銀座通り、新仲通り、栄町が栄え、戦後は区画整理によってできた紅谷町筋も繁華街に加わりました。



平塚新宿西町・昭和8年ごろ(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

平塚駅周辺の中心商業地は、平塚駅北口、西口、南口を中心に、人々が集まる活気のある景観を創出しています。一方、周辺と調和しない建築物や看板類、自転車の駐輪、空き地などが目立っており、景観を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。また「平塚をみがく会」では、市内の落書き消し等の活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 店舗コンクールの実施【平塚市（商業観光課）】
- ◆ 平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例の施行【平塚市（資源循環課）】
- ◆ 防犯パトロール【平塚市（くらし安全課）】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

- ・賑わいと統一感のあるデザインを考えましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・看板類は最小限の大きさとし、デザインを工夫しましょう

関連ガイドライン

No.34

景観要素

ショッピングモール

テーマ

くつろぎと情報を提供する通り

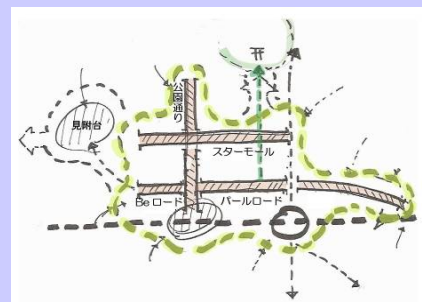


景観づくりの方向性

まちの魅力を高める、親しみと賑わいのある綺麗な道すじ景観を創出します。

景観づくりのイメージ

地区計画や景観協定等を活用し、デザインのルールづくりやオープンカフェ、清掃活動など、老若男女が集える、清潔で、楽しく、美しいまちなみづくりが進められています。



事例紹介

(左)
紅谷パールロード



(右上)
公園通り



(右下)
湘南スターモール



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

ショッピングモールを活用し、“ひらつからしい”オープンカフェ設置等による社会実験的なイベントを実施していきます。

景観づくりキーワード

壁面ライン
ショーウィンドウ
パブリックアート
街路樹
交流

関連景観要素シート

No. 58 No. 60 No. 61 No. 62 No. 63 No. 68

都市・景観形成史

昭和45年に旧東海道沿いの中心商店街一帯で、湘南地方では一番早く歩行者天国が実施されました。

その後、昭和59年からパールロードやスターモールなどのショッピングモールが、地元商店街の努力により整備されました。



歩行者天国(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

平塚市では、戦災復興土地地区画整理事業により基盤の整えられた駅前を中心として、道路と一体となったモール型の商店街が整備されています。

今後は沿道の建物の統一感やデザインに配慮し、街の魅力を高めていくことが求められます。

市民の取り組み

中心商店街では、七夕まつりを始め、ショッピングモール等を舞台に、夏まつり、スターライトフェスティバル、ルネッサンスまつり、駅前大学まつり等、街に賑わいを創出するイベントを展開しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ イベント等への支援【平塚市（商業観光課）】
- ◆ 放置自転車対策の実施【平塚市（くらし安全課）】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・賑わいと統一感のあるデザインを考えましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

景観要素

北口駅前広場

テーマ

誇れる平塚の玄関口



景観づくりの方向性

市民や訪れた方に潤いとやすらぎを与える、平塚の顔として市民が誇れる玄関口としての景観を形成します。

景観づくりのイメージ

平塚の玄関口として、歓迎を表す平塚らしい花々で修景を進めるとともに、特色ある八幡宮の眺望を保全します。また、地区計画や景観協定等を活用しながら、景観やバリアフリー、防犯等の総合的な観点からまちづくりが進められています。



事例紹介

(左)
広場全景



(右上)
広場南側



(右下)
広場東側



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

駅前広場を活用したイベントの開催などの社会実験的な取り組みを進めていきます。

景観づくりキーワード

平塚市の玄関
花・緑
自転車
屋外広告物
パブリックアート
交流

関連景観要素シート

No. 47 No. 58 No. 60 No. 61 No. 62 No. 63 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

明治20年に平塚停車場が開業し、駅前広場で盛大な祝賀会が開催されました。当時の駅舎は、砂丘にポツンと建った簡素なものでしたが、ハイカラに「平塚ステーション」と呼ばれました。駅舎西側には柳が植えられ、関東大震災や平塚大空襲を見つめた、この木の一枝の挿し木により育った二世が、現在枝葉を茂らせています。根元に時の市長戸川貞雄撰文・田中真洲揮毫の碑があります。

駅前広場は、戦災復興土地地区画整理事業により、昭和45年に地下道の開通とともに整備されました。



平塚駅前広場地下道・昭和45年(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

平塚駅北口駅前広場は、平塚市に訪れる人々を迎える玄関口として、賑わいと活気のある景観を創出しています。

一方、周辺と調和しない建築物や看板類など、景観を阻害する要因が生じています。

今後は、都市の顔としての整備、バリアフリー化などが求められています。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。また「平塚をみがく会」では、市内の落書き消し等の活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 交通バリアフリーの促進【平塚市(まちづくり政策課・まちづくり事業課)】
- ◆ 景観重点区域の景観づくりの推進【平塚市(まちづくり政策課)】
- ◆ 放置自転車対策の実施【平塚市(くらし安全課)】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・平塚市の玄関としてふさわしい賑わいと統一感のあるデザインを考えましょう
- ・オープンスペースの設置を推進しましょう
- ・オープンスペースには、まちなみにうるおいを与えるパブリックアートやストリートファニチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

No.36

景観要素

南口駅前広場

テーマ

人魚が迎える玄関口

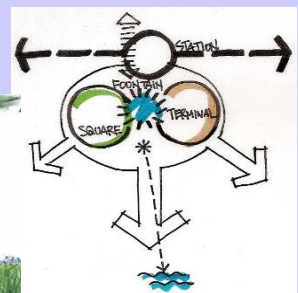
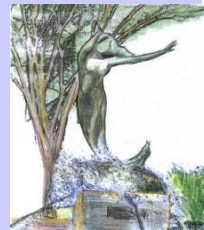


景観づくりの方向性

人魚像（銅像）や噴水を活用した、潮風を感じる駅前空間の景観を形成します。

景観づくりのイメージ

人魚像や噴水を活用し、歓迎を表す平塚らしい花々で彩られた、海への玄関口にふさわしい駅前広場の景観づくりが進められています。



事例紹介

(左)
広場(右上)
人魚の像(右下)
広場から見るなぎさプロムナード景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

既設の人魚像（銅像）や噴水を活かした駅前広場の修景を進めていきます。

景観づくりキーワード

平塚市の玄関

花・緑

自転車

屋外広告物

パブリックアート

交流

関連景観要素シート

No. 48 No. 60 No. 61 No. 63 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

南口駅前広場のシンボルである人魚像は、市制30年を記念して昭和38年に平塚駅前ロータリーに建立され、その後北口駅前広場の改修と合わせて南口に移設されました。沢村政広氏の作品で、時の戸川市長が「海の賛歌」と命名しました。



人魚の像「海の讃歌」(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

平塚駅南口駅前広場は、人々を迎える玄関口として、人魚像や噴水広場などが整備されており、なぎさプロムナードへと続く落ち着きと潤いある景観を創出しています。一方、周辺と調和しない建築物や看板類、自転車の駐輪など、景観を阻害する要因が生じています。今後は、海への玄関口としての整備、バリアフリー化や駐輪場の整備などが求められています。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。また「平塚をみがく会」では、市内の落書き消し等の活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 景観重点区域の景観づくりの推進【平塚市（まちづくり政策課）】
- ◆ 放置自転車対策の実施【平塚市（くらし安全課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることを

- ・海へと続く平塚市の南の玄関にふさわしいデザインを考えましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・オープンスペースには、まちなみにうるおいを与えるパブリックアートやストリートファニチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

No.37

景観要素

中心商業地の中の公園

テーマ

都市のオアシス

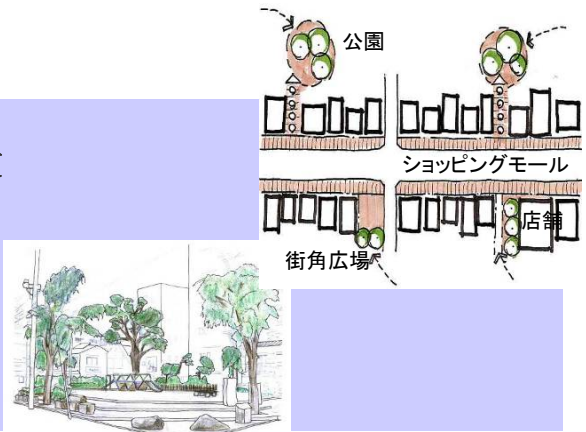


景観づくりの方向性

市民や来訪者が憩い親しめる、明るい広場空間を創出します。

景観づくりのイメージ

植栽や照明等のデザインが工夫され、昼も夜も行き交う人がほっとできる都市のオアシスが形成されています。



事例紹介

(左)
紅谷町公園

(右上)
共同住宅の公開空地
(紅谷町)

(右下)
まちかど広場 (紅谷町)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

公園のオープンスペースを利用して、市民がデザイン・管理できる、花壇・コミュニティガーデンをつくっていきます。

昼夜を通じて、訪れた誰もが安心して憩えるような中心商業地内の公園を目指し、アダプト制度の導入を推進していきます。

景観づくりキーワード

四季を彩る植栽
パブリックアート
夜(照明)
交流拠点

関連景観要素シート

No. 60 No. 62 No. 68

都市・景観形成史

中心商業地内にある錦町・明石町・紅谷町・新宿・東雲・宝町・宝町西の各街区公園は、戦災復興土地区画整理事業により、昭和25～27年にかけて整備されました。紅谷町公園には、番町皿屋敷のヒロインお菊の塚があります。

また、平成17年4月には、来街者の憩いの場、イベント活動の拠点として「紅谷町まちかど広場」がオープンしました。



お菊塚(紅谷町公園)

景観特性と課題

紅谷町まちかど広場は、祭りや地域のイベント拠点として活用されており、また、街区公園の緑やベンチなどは、まちなみに憩いと安らぎを与えるとともに、中心商店街の魅力と賑わいの創出・活性化に寄与しています。

このように、中心商業地の中に、住民や訪れる方にとって憩いの場づくりが求められます。

市民の取り組み

市内各地では、地域の自治会や住民による公園愛護会によって、清掃等の美化活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 身近な公園整備の推進【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 防犯パトロール【平塚市（くらし安全課）】
- ◆ 中心街すっきりさわやかクリーンキャンペーン【平塚市（土木調整課）】

<景観法関連> ◎景観重要公共施設◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・安心して憩うことのできる空間づくりに努めましょう
- ・積極的に緑化しましょう
- ・まちなみにうるおいを与えるパブリックアートやストリートファニチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

景観要素

幹線沿いの店舗群

テーマ

人にやさしい店舗づくり

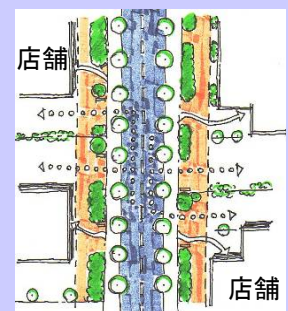


景観づくりの方向性

周辺環境と調和した平塚らしいロードサイド型店舗のデザインを誘導し、良好な景観を形成します。

景観づくりのイメージ

デザインや色彩、植栽のルールづくりによって、優しい店舗づくりが進められています。また、オープンスペースなどのパブリックな空間の形成が進められています。



事例紹介

(左)
県道平塚秦野線沿い

(右上)
国道1号沿い

(右下)
県道大島明石線沿い

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

店舗コンクールなどと連携した店舗・看板部門の「景観賞」の設置を行うなど、幹線沿い店舗としての”ゆとりあるロードサイド”型店舗を育成していきます。

景観づくりキーワード

緑化
街路樹
屋外広告物
オープンスペース
交流

関連景観要素シート

No. 63

都市・景観形成史

昭和50年代から急速に進展したモータリゼーションに対応して、まず郊外型の大型店の進出、小型多店舗化戦略によるスーパーやコンビニエンスストア、さらにはロードサイドの専門店が急速に伸長しました。ロードサイド型の大型店舗のさきがけとしては、昭和54年にダイクマが県道平塚秦野線沿いに出店しました。

景観特性と課題

近年、国道129号沿いに大規模なロードサイド型店舗が集積しつつあります。こうした店舗の中には、周辺と調和しない建築物や、屋外広告物が氾濫し、良好な景観形成に影響を与えています。今後は、調和のとれた建築物への誘導や、屋外広告物の規制などをすすめるとともに、オープンスペースの確保に努め、平塚らしいゆとりある商業地景観づくりが求められます。

市民の取り組み

市内各地の商店会では、地域商店街の振興を図るため、地域生活者とのふれあいのある催事を開催しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度> ◆ 店舗コンクールの実施【平塚市（商業観光課）】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・ゆとりと潤いのある店舗づくりに努めましょう
- ・周囲のまちなみとの調和に配慮しましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・看板類は最小限の大きさとし、デザインを工夫しましょう

関連ガイドライン

景観要素

地域商店街

テーマ

暮らしの中に根付く商店街

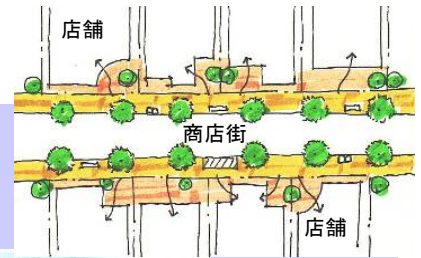


景観づくりの方向性

日々の生活に溶け込んだ、地域に愛される商店街の景観を形成します。

景観づくりのイメージ

店舗の大きさやしつらえなど、より地域に相応しいルールが検討され、地域の人に愛され、くつろぎを提供する商店街が形成されています。



事例紹介

(左)
扇の松通り商店街



(右上)
旭の商店街



(右下)
西八幡の商店街



景観づくりのアクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

店舗コンクールなどと連携した店舗・看板部門の「景観賞」の設置を行うなど、「日々の暮らしに溶け込んだ落ちつきある」店舗づくりを育成していきます。

景観づくりキーワード

地域の個性
緑化
街路樹
屋外広告物
交流

関連景観要素シート

No. 29 No. 57 No. 59 No. 63

都市・景観形成史

市街化の進展に伴い、市内各地で商店街が形成され、地域とふれあいのある商店街づくりが進められています。

昭和40年代から市・商工会議所・商店街連合会の共催により、店舗の近代化・経営の合理化を進め、消費者サービスの向上と地域商業の発展に寄与した優良店舗を表彰し、商業の振興をはかるため、「平塚店舗コンクール」を開催しています。

景観特性と課題

市内には、中心商業地以外にも地域の住民の生活に密着した多くの商店街が存在します。

長年にわたって地域で商いを続けている商店街は、ときには地域の祭りやイベントの会場ともなり、地域の文化・歴史を反映した商業景観を形成してきました。

一方で、近年、店舗の更新や閉店、全国チェーン店舗の進出等に伴い、統一感のある商業地景観の維持が難しくなりつつあります。

地域の日々の暮らしに溶け込んだ落ち着いた落ち着いた商業地景観の保全に向けたルールづくりが求められます。

市民の取り組み

市内各地の商店会では、地域商店街の振興を図るため、地域住民とのふれあいのある催事を開催しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 店舗コンクールの実施【平塚市（商業観光課）】

<景観法関連> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・ゆとりと潤いのある店舗づくりに努めましょう
- ・周囲のまちなみとの調和に配慮しましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・看板類は最小限の大きさとし、デザインを工夫しましょう

関連ガイドライン

No.40

景観要素

市役所周辺公共施設群

テーマ

シビックコアは景観モデル

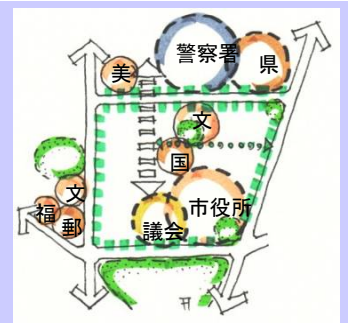


景観づくりの方向性

景観形成の先導的な役割を担う公共施設群は、平塚の景観モデルとして風格あるシビックコアを形成します。

景観づくりのイメージ

市役所を中心とした公共施設群は緑に覆われたシビックコアを形成し、平塚の景観モデルとなるようなまちなみが整備され、市民が市役所を起点に周辺の都市空間を回遊したくなるような場が提供されています。



事例紹介

(左)
美術館 (西八幡)



(右上)
市役所議事堂 (浅間町)



(右下)
文化公園 (浅間町)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

市役所周辺の公共施設間の移動をわかりやすくするため、歩行者スケールの、景観に配慮した統一感のある道しるべ(サイン)を設置していきます。平塚らしい草花を活用し、環境と景観に配慮したクール・ビル作戦(壁面緑化)を実施していきます。

景観づくりキーワード

市の顔
回遊性・交流拠点
オアシス
CI (コーポレート・
アイデンティティ)
パブリックアート

関連景観要素シート

No. 68 No. 69

都市・景観形成史



世界の絵
ぼくの絵
見られる
美術館



景観特性と課題

昭和38年、旧大蔵省から敷地の払い下げを受け、平塚八幡神社北側の用地に現在の市庁舎建設が始まり、39年に完成しました。その後、昭和45年に図書館、昭和51年に博物館、昭和55年に教育会館が完成し、文化公園ができあがりました。県平塚合同庁舎は昭和43年に完成し、平成8年に平塚警察署が移転しました。



神奈川県平塚合同庁舎・昭和43年(平塚50年の歩み)



市庁舎(市制40周年記念誌)

市役所周辺には大規模な公共施設や文化施設、総合公園等がまとまって立地しています。平塚市の顔として風格のあるシンボル性の高い景観をつくり出すよう、色彩計画など統一的な公共デザインを検討するなど、先導的な取り組みを進めることが求められます。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連> ◎景観重要公共施設◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることを

- ・統一感のあるデザインを採用しましょう
- ・積極的に緑化しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したサイン計画をたてましょう

関連ガイドライン

No.41

景観要素

総合公園

テーマ

市民の大広場は景観の素

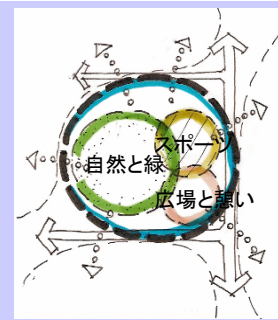


景観づくりの方向性

将来の景観づくりを見守り続ける現代の市民の城として、また、将来につなぐ緑の拠点として、シンボル性を維持します。

景観づくりのイメージ

バラの咲く公園通りの先の総合公園は、花と緑に囲まれた良好な景観が維持、形成され、現代の市民の城として親しまれ、周辺や市全体の景観づくりの推進の素となっています。



事例紹介

(左)
ひらつかのはらっぱ

(右上)
親水広場

(右下)
平塚競技場



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

市民の城として、公園の維持管理に努めていきます。

景観づくりキーワード

市の顔
自然と緑
交流拠点
開放感・オアシス
パブリックアート

関連景観要素シート

No. 67 No. 68 No. 69

都市・景観形成史



わ
ばんぱくっ子
みんな集まれ
総合公園

平塚市総合公園は、旧農林省園芸試験場跡地に市制施行50周年を記念して、昭和57年に着工し、平成3年3月に全体が完成しました。旧農林省園芸試験場では、主に落葉果樹の試験栽培、花卉(かき)を含む蔬菜(そさい)の栽培、その他水地耕地部が設けられ、土地と水の保全利用、地盤、地質、地下水、農地の整備に関する試験研究が行われました。



農林省園芸試験場(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

広さ30.3ヘクタール、約230種10万本の木々が植えられています。四季折々の花や木々が楽しめる「日本庭園」「さくらの広場」などが整備され、花と緑に囲まれた良好な景観が形成されており、市民の憩いの場として親しまれています。

また、本格的なスポーツ施設として「平塚球場」「平塚競技場」「平塚総合体育館」「温水プール」「テニスコート」が整備されており、全国規模の大会から市内大会まで幅広く活用されています。

今後も、市の顔として良好な景観を保全するとともに、周辺との調和を推進し、市全体の景観づくりへとつなげていくことが求められます。

市民の取り組み

平塚競技場では、湘南ベルマーレの試合後の清掃など、多くの市民ボランティアが運営に関わっています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・統一感のあるデザインを採用しましょう
- ・積極的に緑化しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したサイン計画をたてましょう

関連ガイドライン

No.42

景観要素

大規模な公共施設

テーマ

市民文化を牽引する平塚の魅力

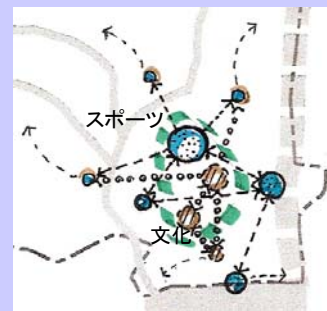


景観づくりの方向性

大規模な公共建築物や公共空間は、平塚の文化を育む空間として良質なデザインによる先導的な建築モデルを目指します。

景観づくりのイメージ

周辺環境と調和した公共建築物や良質な公共空間が、新たな文化の創出やスポーツの場の充実など、平塚の市民文化の向上に役立っています。



事例紹介

(左)
なぎさふれあいセンター

(右上)
リサイクルプラザ

(右下)
ひらつかアリーナ



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

平塚の良質な文化を育む空間となるような、周囲との調和に配慮した大規模な公共施設のデザインガイドラインづくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード
緑化
デザイン
サイン計画
オープンスペース
文化

関連景観要素シート

No. 45 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

昭和の後半から平成にかけて、総合公園、美術館、市民病院新館、なぎさふれあいセンターなど大規模な公共施設ができました。サッカーW杯でナイジェリア代表チームが平塚でキャンプを行った馬入ふれあい公園には、ひらつかアリーナがオープンしました。



市民センター完成・昭和37年
(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市内には、楽しく豊かで快適な生活が送れるように様々な公共施設が整備されており、市民の暮らしをサポートしています。1991年（平成3年）3月に開館した美術館をはじめ、博物館、図書館、市民センター、中央公民館、ひらつか市民プラザなどの文化・社会教育施設は、催し物を楽しむ場であると同時に、市民自らが主役となる平塚文化の発信地となっています。このような大規模公共施設の建設・改修にあたっては、平塚の文化を育む空間にふさわしい良質なデザインとすることが求められます。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・魅力的な景観の創出に全力を注ぎましょう
- ・周囲のまちなみとの調和に配慮しましょう
- ・統一感のあるデザインを採用しましょう
- ・周辺景観との調和に配慮したサイン計画を立てましょう

関連ガイドライン

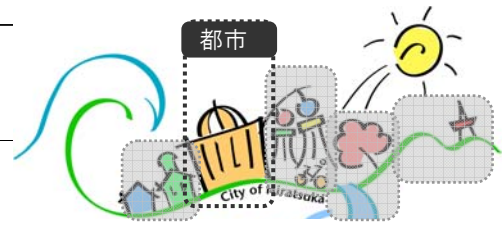
No.43

景観要素

小中高校、大学など 文教施設

テーマ

学校周辺のプロムナード

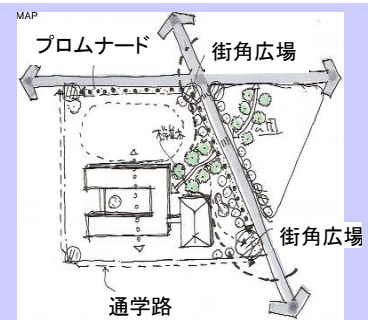


景観づくりの方向性

小中学校などの文教施設は、生徒や学生、地域住民が憩える魅力あるまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

小学校や中学校等は、周辺環境と調和した校舎や安全な歩行者空間が整備され、校門周辺は、桜の木や大きく育った並木道に囲まれ、生徒たちの待合せや地域の方々も憩える通りや広場などができています。



事例紹介

(左)
吉沢小学校



(右上)
平塚ろう学校



(右下)
高浜高校



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

歩道・外構整備により、まちかど広場をつくったり、敷地周囲を緑化することなどにより、景観に配慮した歩行者空間を創出していきます。

景観づくりキーワード

地域のシンボル
沿道緑化
並木道
デザイン
オープンスペース

関連景観要素シート

No. 45 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

東海大学湘南校舎は、昭和38年北金目の丘陵に建設され、平塚市はここに学園都市としてスタート、平成元年には、西部丘陵地に神奈川大学平塚キャンパスが開校しました。



東海大学湘南校舎(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市内には平成20年度現在、市立小学校28校、市立中学校15校、高等学校が9校（県立校8校、私立校1校）があります。

また、大学は、秦野市との市境付近で、市の北西部に位置する東海大学の湘南校舎と西部丘陵の一角に神奈川大学の湘南ひらつかキャンパスがあります。

小中学校などの文教施設は子どもたちの人格形成への影響を鑑み、平塚らしい良質なデザインとすることが求められます。

さらに、地域の拠点として、生徒や学生、地域住民が交流し、憩える場になることが求められます。

また、緑豊かな大学キャンパスは、ケヤキ並木やイチョウ並木など、季節感ある景観を楽しむことができます。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 通学路安全対策事業の推進【平塚市（学務課）】

<景観法関連>

◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・地域コミュニティの核となるよう、機能性とデザイン性の両面に配慮しましょう
- ・積極的に緑化しましょう
- ・オープンスペースの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

No.44

景観要素

公民館などの
地域公共施設

テーマ

公民館は地域のコミュニティ拠点

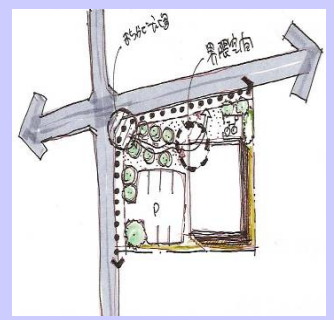


景観づくりの方向性

地区公民館など地域の公共施設は、市民が気楽に集える開放的なコミュニティ空間を形成します。

景観づくりのイメージ

地域公民館を中心に地域の方々が気楽に集える開放的なコミュニティ空間が形成され、公共施設と周辺環境が調和した景観が形成されていきます。



事例紹介

(左)
なでしこ公民館



(右上)
旭南公民館



(右下)
大野子どもの家

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

公共施設周辺の移動をわかりやすくするため、歩行者スケールの、景観に配慮した統一感のある道しるべ(サイン)を設置していきます。
公民館のオープンスペースを利用して、市民がデザイン・管理できる、花壇・コミュニティガーデンをつくっていきます。

景観づくりキーワード

地域のシンボル
緑化
デザイン
交流拠点
オープンスペース

関連景観要素シート

No. 45 No. 59 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

昭和32年に1町7ヶ村との合併が実現した際、旧町村に市役所出張所が設けられ、その出張所の一隅に公民館が併設されました。昭和43年度に16学区に16公民館の設置が完了し、一館一主事の専任職員によって、地区の実情にそった公民館活動が活発に展開されることになりました。平成20年4月1日現在、市内には、中央公民館のほか28小学校区に25館の地区公民館が設置されています。

崇善公民館は、昭和40年度に開館し、前身は、明治6年に創設された「崇善館」と称する学校です。西側の鉄筋コンクリート造の部分は、昭和3年に建設された学校の理化学室であり、戦火にも耐え、戦後、市役所事務室として利用されました。東側の木造部分は、昭和25年に落成した市の旧議事堂です。公民館前の樟(くすのき)の大木は、「実生の樟樹」と呼ばれ、種子から芽を出し、巨木に育ったものです。



市立崇善公民館(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

現在、平塚市には中央公民館のほか25の公民館があります。公民館は地域の「学びの場」、「いこいの場」、「ふれあいの場」として、サークル・ボランティア活動拠点、日々の情報交換の場、祭りやイベント会場といった様々な用途に活用されています。今後も、子供から高齢者まで、地域の多様な方々にとって親しみやすく、気軽に集えるコミュニティ空間となることが求められます。

市民の取り組み

市内には、町内会館や公民館周辺の清掃活動に取り組む自治会があります。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連> ◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・地域コミュニティの核となるよう、機能性とデザイン性の両面に配慮しましょう
- ・積極的に緑化しましょう
- ・オープンスペースの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

No.45

景観要素

公園・ポケットパーク

テーマ

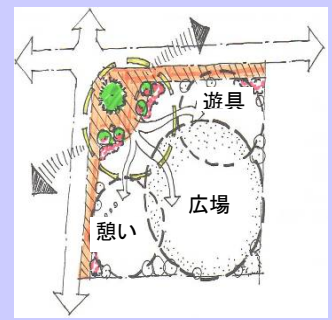
地域自慢が
一目でわかる公園づくり

景観づくりの方向性

地域の自然や歴史を公園やポケットパークづくりに活用し、地域情報を発信する空間を創出します。

景観づくりのイメージ

地域の公園やポケットパークは、地域の自然や歴史を伝える草花の植栽やモニュメントなどが配置され、地域の方々に維持管理されることにより地域らしさのメッセージが発信されています。



事例紹介

(左)
なでしこ公園(右上)
金目親水公園(右下)
真土大塚山公園景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

古い地名や旧道名・古道名、またそのいわれを説明する石碑やプレートを設置したりといった、土地の歴史を感じさせる取り組みを進めていきます。公園・ポケットパークのオープンスペースを利用して、市民がデザイン・管理できる、花壇・コミュニティガーデンをつくっていきます。

景観づくりキーワード

地域のシンボル
四季を彩る植栽
交流拠点
オープンスペース
パブリックアート

関連景観要素シート

No. 8 No.22 No. 42 No.43 No. 44 No. 50 No. 59 No. 67 No. 68 No. 69

都市・景観形成史

諏訪町の大久保公園は、昭和36年に指定された市内最初のモデル児童公園で、野外ステージやゾウ型コンクリート滑り台、プールなど子どもの夢がいっぱいの施設が整備されました。

身近な公園として街区内に居住する人の利用を目的とした「街区公園（0.25ha/1箇所・標準）」、近隣に居住する人の利用を目的とした「近隣公園（2ha/1箇所・標準）」があり、平成20年4月1日現在、街区公園93ヶ所、近隣公園12ヶ所となっています。



ま

村井弦齋公園【街区公園】(市制40周年記念誌)



上平塚と南原の境にたんじょう池があります。花水川の洪水のたびにその痕跡をとどめたらしく、だれいともなく、誕生池の名を生じたものです。
たんじょう池・達上ヶ丘公園【近隣公園】(市制40周年記念誌)

景観特性と課題



市街地や相模川沿いに点在する公園やポケットパークは、市民に愛される憩いと安らぎの景観をつくり出しています。平成17年4月、紅谷町の銀行跡地に「紅谷町まちかど広場」がオープンし、祭りや地域のイベント拠点として活用されており、まちなみに憩いと安らぎを与えるとともに、中心商店街の魅力と賑わいの創出・活性化に寄与しています。

地域の方々が維持管理に参加したり、積極的に活用しやすいような公園やポケットパークづくりが求められます。

市民の取り組み

市内各地では、地域の自治会や住民による公園愛護会によって、清掃等の美化活動や公園の貴重な緑を守る活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 身近な公園整備の推進【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連>

◎景観重要公共施設 ○景観協議会 ○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・地域コミュニティの核となるよう、機能性とデザイン性の両面に配慮しましょう
- ・地域にふさわしいデザインを考えましょう

関連ガイドライン

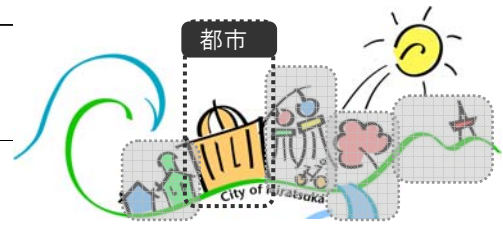
No.46

景観要素

国道や幹線道路

テーマ

街路は木にやさしく
人にもやさしく

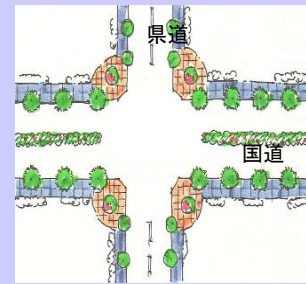


景観づくりの方向性

街路ごとに特色ある豊かな樹木を育て、人を生き活きとさせる歩行者空間を創出します。

景観づくりのイメージ

夏には緑陰をつくり、秋の紅葉を楽しめる大きくたわわに育った街路樹や色彩及びデザインに配慮された道路構造物などによる安全な街路空間が形成され、街路ごとに特色ある景観が創出されています。



事例紹介

(左)
国道134号



(右上)
市道海岸南中線



(右下)
国道1号

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

街路樹の管理や、ガードレールなどの道路構造物についてのデザインガイドラインづくりに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

街路樹
街路灯
舗装

ガードレール
ストリートファニ
チャー
電柱・電線

関連景観要素シート

No. 14 No. 31 No. 48 No. 69

都市・景観形成史



ランナーの
たすきも走る
遊歩道

現在の国道1号は、戦災復興の都市計画道路として昭和42年に完成し、市道認定された通称平塚バイパスです。その後、当時の国道1号（現在の市道東海道本通り線）の交通量の増加を防ぐため、バイパスを国道に切り替える手続きを行い、昭和52年に変更されました。この国道1号は、昭和56～58年度にかけて「うるおいのある道づくり事業」の一環として、歩道や中央分離帯の植栽等が行われました。

国道129号は、平塚駅前を起点に厚木を経て相模原を結ぶ県道でしたが、昭和37年に厚木までほぼ直線に改修されて国道に昇格しました。その後、真土で分岐し千石河岸で国道134号に結ぶまでの新道が完成し、現在の姿になりました。

国道134号は、昭和11年に開通した頃は「湘南遊歩道路」と呼ばれ、海岸線ギリギリに馬車道、歩行用道路、車道と、それぞれが段差によって区切られた、車の交通量が少なく松の緑豊かな海辺の道路でした。戦後、国道となったこの道は、馬車道も歩行用道路も取り除かれ、道幅が広げられました。



昭和29年完成した、県道平塚伊勢原線の一部。通称「八間道路」
八間通り完成(平塚50年の歩み)



新国道平塚バイパス(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

旧東海道に並行して通る国道1号をはじめ、海岸沿いを通る国道134号、中心市街地から北へと伸びる国道129号、さらに県道平塚伊勢原線・平塚秦野線といった幹線道路など、平塚市には多様な幹線道路の道路景観が広がっています。

一方、幹線道路沿いでは、屋外広告物、電柱や電線類、放置自転車、樹木の伐採など、良好な道路景観を阻害する要因が生じています。車の利用者の視点からだけではなく、歩行者の視点から良好な道路景観を創出していくためには、街路樹等の積極的な植栽により、緑量を増やしていくことも大切です。

市民の取り組み

中原地区や上平塚地区の県道は、沿道沿いの自治会によって花壇づくりや美化活動が行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 街路樹の植栽や緩衝帯の設置の推進【国、県、平塚市】

<景観法関連>

◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・周辺のまちなみと調和した、統一感のある落ち着いたデザインを採用しましょう
- ・積極的に緑化しましょう

関連ガイドライン

No.47

景観要素

駅前大通り (フェスタロード)

テーマ

これぞ平塚大通り

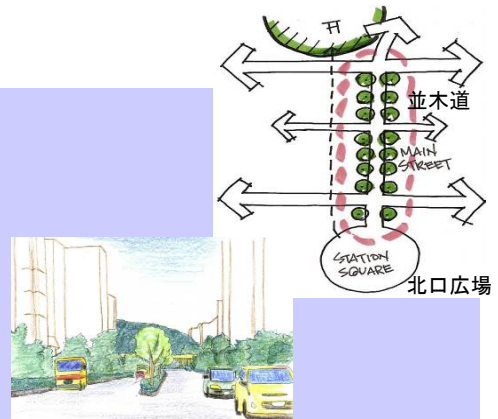


景観づくりの方向性

平塚の顔として、シンボル性と風格を備えた駅前大通り景観を形成します。

景観づくりのイメージ

十分にゆとりのある歩道と街路樹の並木道からなる歩行者空間が整備され、駅からは平塚八幡宮の森が望める景観は、ここを訪れた市民や人々の記憶に残ります。



事例紹介

(左)
平塚八幡宮方面を望む

(右上)
平塚駅方面を望む

(右下)
歩道の植栽



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

駐輪場のあり方を整理し、歩行者空間の広いフェスタロードを活用した”ひらつからしい”オープンカフェ設置等の社会実験的なイベントを実施していきます。

景観づくりキーワード

街路樹
街路灯
平塚八幡宮
舗装
ストリート

関連景観要素シート

No. 14 No. 33 No. 35 No. 69

都市・景観形成史

駅前大通りは、戦災復興土地地区画整理事業により、幅員36mの平塚駅八幡神社線という名称で計画整備されました。厚木秦野方面への幹線であるとともに、市の表玄関とし美観防災機能を備えています。その後、昭和53年に市道駅前大通り線として都市計画変更されました。市制60周年を記念して、フェスタロードと愛称がついています。「フェスタ」とは英語のFestal（フェスタル）「祭りの」「陽気な」という意味からとったものです。市のメイン道路にふさわしい、響きの良い、楽しさと意味にひろがりのあるシンボリックな名称になりました。

景観特性と課題

戦災復興土地地区画整理事業により整えられた駅前から八幡山公園へ伸びる駅前大通りは、その名の通り平塚の顔となる広幅員道路であり、ひらつか七夕まつりの会場でもあります。しかし、本来は楽しめるはずの八幡山公園・平塚八幡宮への眺望が、歩道橋や歩道上の自転車等により阻害されています。市民アンケートからは駅前大通りについて「好ましくない・魅力が活かされていない」とする意見が「魅力的・大切にしたい」とする意見を大幅に上回っており、今後は景観阻害要因の改善に取り組み、平塚の顔としての景観形成に取り組むことが求められます。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。また「平塚をみがく会」では、市内の落書き消し等の活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 街路樹の植栽や緩衝帯の設置推進を街路樹や緩衝帯の充実【平塚市（道路整備課）】
- ◆ 景観重点地区の景観づくりの推進【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連>

- ◎ 景観重要公共施設 ○ 景観協議会 ○ 景観整備機構 ○ 景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・ 平塚市の玄関としてふさわしい、統一感のある落ち着いたデザインを考えましょう
- ・ 平塚八幡宮の豊かな緑の森を意識しましょう
- ・ 積極的に緑化しましょう
- ・ まちなみにうるおいを与えるパブリックアートやストリートファニーチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

No.48

景観要素

なぎさプロムナード

テーマ

人魚が迎える
海へのプロムナード

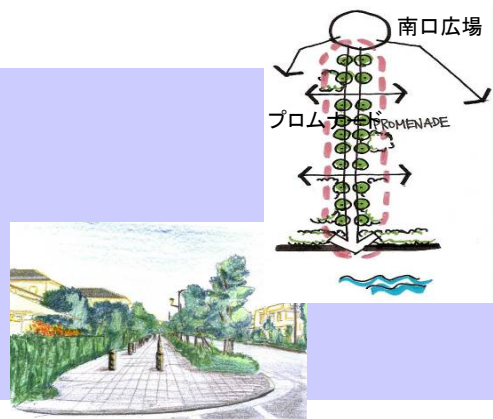


景観づくりの方向性

駅から海へ続くシンボル道路として、松と街並みが調和した道すじ景観を形成します。

景観づくりのイメージ

人魚が迎える広いプロムナードは、松林と家並みが調和した良好な景観が維持、形成され、潮の香りが感じられる海岸ならではの雰囲気を実感されます。



事例紹介

(左)
海方面を望む

(右上)
駅方面を望む

(右下)
街路灯



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

歩行者空間の広いなぎさプロムナードを活用し、”ひらつからしい”オープンカフェ設置等の社会実験的なイベントを実施していきます。

景観づくりキーワード

街路樹
街路灯
海岸
松林や松並木
舗装

ストリートファニチャー

関連景観要素シート

No. 9 No. 11 No. 13 No. 25 No. 36 No. 46 No. 69

都市・景観形成史

昭和60年に、神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、大磯町、県民の共同で策定されたのが、湘南なぎさプランです。この計画に基づき、平塚駅から海岸への道路の再整備が行われました。これが、県道平塚停車場袖ヶ浜線（平塚なぎさプロムナード）です。
通り沿いには、旧杏雲堂（きょううんどう）病院にて療養を行った、明治の文豪高山樗牛（たかやまちよぎゅう）の碑があります。

景観特性と課題

松の街路樹、開放感のある景観が市民や来訪者に愛されています。これまで、湘南ひらつか都市景観づくり要綱に基づく景観形成モデル地区の1つとして、良好な景観形成を推進しています。
穏やかで、落ち着いた雰囲気、広々とした空が特徴的な空間をつくりだしている、この地の景観を、後世に残していく必要があります。

市民の取り組み

沿道の自治会等により清掃や花壇づくり、黒松剪定等の活動が行われています。また景観を守ることを目的に、地域住民により「湘南なぎさプロムナードの環境を守る会」が結成されています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 景観重点地区の景観づくりの推進【平塚市（まちづくり政策課）】

<景観法関連>

◎景観重要公共施設○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・開放感のある通りにふさわしい、統一感のある落ち着いたデザインを考えましょう
- ・松並木を大切にしましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・まちなみにうるおいを与えるパブリックアートやストリートファニチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

No.49

景観要素

シンボル道路

テーマ

時を伝える新たな街路



景観づくりの方向性

街路ごとの特色を活かした市民に親しまれるシンボル道路を創出します。

景観づくりのイメージ

街路ごとに命名されたシンボル道路は、その特色を活かしたみちすじ景観が整備され、市民の誇りと潤いの散策路になっています。地域の特色を活かしたシンボル道路が整備され増えていき、幹線道路やコミュニティ道路とともに歩行者空間のネットワークが形成されています。



事例紹介

(左)
弦斎通り

(右上)
公園通り

(右下)
中原上宿遺跡歩道
(県道平塚伊勢原線)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

シンボル道路にアダプト制度導入を推進し、植栽、剪定、地域清掃活動等を行ってもらったり、みちコンテストや「わがみち10選」の選定などに組み込んでいきます。

景観づくりキーワード

地域の個性
街路樹
街路灯
ガードレール
ストリートファニチャー
舗装

関連景観要素シート

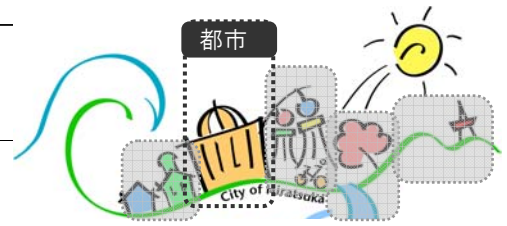
No. 13 No. 14 No. 19 No. 20 No. 33 No. 69

景観要素

コミュニティ道路

テーマ

寄り道したい散歩道

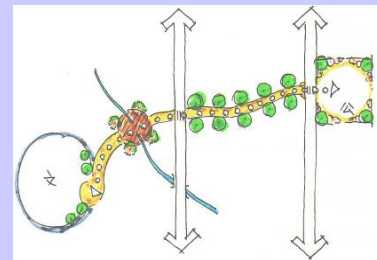


景観づくりの方向性

季節の気配を感じるコミュニティ道路を増やし、地域の特色を活かした散歩道により魅力ある景観を形成します。

景観づくりのイメージ

コミュニティ道路は、明るい安全な道であったり、緑豊かな緑道であったり、地域の特色が垣間見られ、市民の潤いとやすらぎの散策路になっています。コミュニティ道路や散策路が増えていき、シンボル道路や幹線道路とともに歩行者空間のネットワークが形成されています。



事例紹介

(左)
まといさんぽみち (纏)

(右上)
中原谷川堀

(右下)
大神のコミュニティ道路

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

コミュニティ道路にアダプト制度導入を推進し、植栽、剪定、地域清掃活動等を行ってもらったり、みちコンテストや「さんぽ道10選」の選定などに取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

街路樹
街路灯
生垣
緑道
車止め
ストリートファニチャー
舗装

関連景観要素シート

No. 25 No. 26 No. 27 No. 28 No. 29 No. 57 No. 61 No. 69

都市・景観形成史



控え土手
今は纏の
さんば道

コミュニティ道路は、地域の人々がうらおいとやすらぎを感じることで
できる生活空間を確保するため、幅の広い歩道や植樹、カラー舗装など
歩行者の安全で快適な通行を確保した歩行者優先の道路です。
平成に入って、水路の上部や旧堤防敷などを利用したコミュニティ道路
が、市内各地で整備されています。

景観特性と課題

市内には、川沿いの散歩道などの市民生活に密着したコミュニティ道路
が整備され、個性ある道路景観を垣間見ることができます。
こうした個性を伸ばしていくために、沿道の緑や植栽を増やし、季節感
ある潤いと安らぎの道づくりを進めることが求められます。

市民の取り組み

地域住民と行政との協働で整備計画がつけられた市内各地のコミュニ
ティ道路や緑道は、地域住民による管理や美化活動によって大切にされ
ています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 街路樹の植栽や緩衝帯の設置の推進【平塚市（道路整備課）】

<今後の取り組み> ◎景観重要公共施設◎景観協議会◎景観整備機構◎景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・地域の特色を活かした散歩道のデザインを
考えましょう
- ・人にやさしい自然素材を採用しよう
- ・まちなみにうらおいを与えるパブリックアートや
ストリートファニチャーの設置に努めましょう

関連ガイドライン

No.51

景観要素

生活道路

テーマ

安らぎとゆとりの生活道路

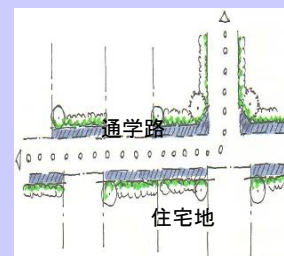


景観づくりの方向性

地域住民の身近な生活道路は緑に囲まれた道を創出します。

景観づくりのイメージ

生垣やセットバックにより、ゆったりとした空間が保たれた生活道路が住宅地の中につくられ、子どもたちが安心できる通学路として使われています。



事例紹介

(左)
山下長者屋敷付近



(右上)
新興住宅地内の道路
(真田)



(右下)
丘陵地の道路 (土屋)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

沿道の生垣化など安全な道づくりや、
市民自慢の庭づくり、清掃活動などに
取り組んでいきます。

景観づくりキーワード

街路樹
街路灯
生垣
セットバック
(壁面後退)

関連景観要素シート

No. 22 No. 25 No. 26 No. 20 No. 27 No. 28 No. 29 No. 57 No. 61

都市・景観形成史

平塚市の4m未満の生活道路は、昭和62年から「狭あい道路整備事業」により、整備され始めました。



平塚新宿から平塚本宿にかけての南裏道(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

地域住民の生活に密着した住宅地内をめぐる生活道路は、子どもたちや高齢者などにとっても安心・安全な場所であることが求められます。そのための取り組みの一つとして、生け垣等の緑に囲まれた道づくりなどが求められます。

市民の取り組み

市内の各自治会等では、住居周辺の道路の清掃活動を行っており、道路やバスロータリー周辺の花壇づくりに取り組んでいる地域もあります。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 花とみどりのまちづくり推進事業【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 生垣の設置促進’ いけがき設置補助’【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<景観法関連> ○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・うるおいのある、落ち着いたデザインを採用しましょう
- ・積極的に緑化しましょう

関連ガイドライン

No.52

景観要素

橋

テーマ

思わず渡りたくなる
出会いの橋

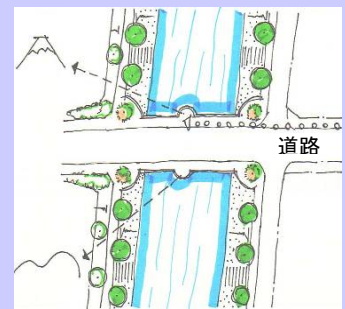


景観づくりの方向性

河川へのアプローチや遠くの山並みへの視点場を大切にした橋梁（きょうりょう）景観を創出します。

景観づくりのイメージ

富士山や高麗山を眺望する風景にマッチした橋は、渡ると何か発見がありそうなそんな平塚の魅力を伝え、川岸から眺めても思わず渡りたくなる魅力があります。



事例紹介

(左)
市内唯一の木橋
(前河原橋・金目川)

(右上)
花水川橋 (花水川)

(右下)
水路の赤い橋 (西真土)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

平塚らしい橋梁のガイドラインづくり
や色彩の配慮などによる「橋10選景
観づくり」を進めていきます。

景観づくりキーワード

眺望
歴史
流域の統一感

関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 6 No. 7 No. 8 No. 15 No. 16 No. 17 No. 53 No. 69

都市・景観形成史

花水川河口に架かる花水橋は、昭和9年に竣工した鉄筋コンクリートゲルバー桁橋で、昭和40年に拡幅されたものの、現在も堂々とした美しい姿を残しており、かながわの橋100選にも選ばれています。
金目川と渋田川の合流部に架かる平塚大橋は、昭和49年に建設され、本市施行の橋で最大であったことからこの名がつけました。
金目観音上流の前河原橋は、平塚市が管理する220の橋のうち、唯一の木橋で、平成19年にリニューアルされました。前長56.2m、幅2.8mあります。

景観特性と課題

相模川や金目川、市内を流れる中小河川に架かる大小の橋は、それ自体がランドマークであるとともに、富士山や高麗山への眺望を楽しむことのできる絶好の視点場となっています。例えば、湘南銀河大橋や馬入大橋から富士山への眺望は、「関東富士見百景」にも選ばれました。
また、相模川や金目川下流部は市境に位置しており、橋は平塚市への玄関口としての役割を果たしています。

市民の取り組み

市内唯一の木橋である前河原橋が架け替えられた際は、地元連絡協議会と金目エコ・ミュージアム推進準備委員会との共催による、「前河原橋改修工事完成記念渡り初め式典」が行われました。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連>

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・周辺との調和に配慮しましょう
- ・流域の統一感に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

No.53

景観要素

相模川の橋上

テーマ

ひらつかの玄関口

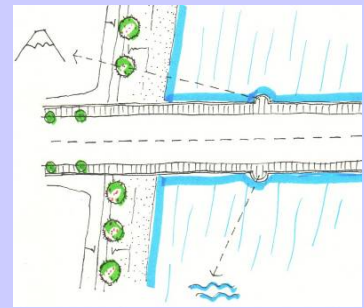


景観づくりの方向性

平塚へのゲートとなる橋上からの景観は、山並みへの眺望を保全し、相模川と調和した景観を形成します。

景観づくりのイメージ

雄大な相模川に架かる橋は、平塚の玄関口としてふさわしいデザインとし、まちの魅力を高めます。また、橋上からの山並みが眺望できる絶好の視点場が整備されています。



事例紹介

(左)
馬入橋

(右上)
湘南大橋

(右下)
湘南銀河大橋



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

相模川にかかる橋からの眺めは、「相模川を渡ると、平塚！」と言われるような、海や富士山を背景に、河川の並木による修景や川沿いの建築物の色彩の配慮などに心がけていきます。

景観づくりキーワード

平塚の玄関口
眺望
流域の統一感

関連景観要素シート

No. 4 No. 15 No. 16 No. 17 No. 69

都市・景観形成史

江戸時代、馬入、四之宮、田村には渡船場があり対岸と往き来していました。相模川最初の橋は馬入橋で、明治11年に架設した木橋はかなり長持ちしましたが、明治44年の洪水で壊れ、一部鉄材の木橋に架け替えました。これが大正11年の関東大震災で全壊し、大正14年に架け替え、その後、現在の橋は昭和55年に架け替えられたものです。

また湘南大橋は昭和8年に架設され昭和61年に架け替えられました。神川橋は昭和25年に架設され、平成4年に架け替えられました。平成10年に完成した湘南銀河大橋は、美しい斜張橋で、ここから見る富士山は「関東の富士見百景」にも選定されています。



14代将軍、家茂上洛のとき仮橋を架けました。
文久三年の仮橋(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

相模川の橋上は、富士山や高麗山、平塚海岸への眺望を楽しむことのできる絶好の視点場です。平塚市の玄関口としても重要な要素となります。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連>

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・周辺との調和に配慮しましょう
- ・流域の統一感に配慮したデザインを採用しましょう

関連ガイドライン

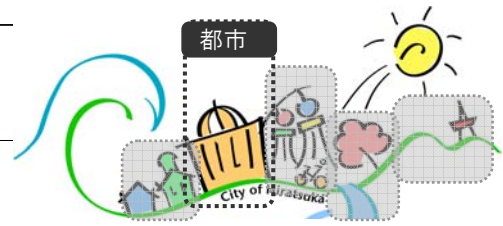
No.54

景観要素

東海道本線

テーマ

電車が走る街中の風景



景観づくりの方向性

線路や鉄橋は、市街地の風景にアクセントを加える風景として修景を進め、市民に親しみのある風景を形成します。

景観づくりのイメージ

平塚駅から発車した湘南電車が、川の鉄橋を渡る風景は市民に親しまれています。



事例紹介

(左)
撫子原から



(右上)
黒部丘から



(右下)
馬入から



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

相模川や花水川の鉄橋を湘南電車が渡る風景は、河川の桜並木などによる修景により少しずつ整えていきます。

景観づくりキーワード

鉄橋
眺望
沿線の植栽

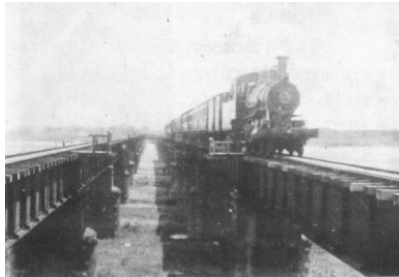
関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 15 No. 17

都市・景観形成史

大正14年に、湘南旅客電車の一部が、大船～小田原まで電気運転されました。戦後間もない頃に登場した湘南電車は、ミカンの実と葉をイメージしたオレンジ色と緑に塗り分けられ、その鮮やかな車体が注目されました。

この「湘南電車」の愛称で50年以上も親しまれてきた車両は、2006年3月に113系が東海道線から引退することで姿を消し、以後は、ステンレスの銀色の車両にオレンジと緑の帯が入った電車だけになりました。



明治20年完工。この橋は大正12年の大地震で全壊。
馬入橋鉄橋(市制40周年記念誌)



湘南電車の運転開始(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市中心部を東西に横断する東海道本線は、市民の足として活用されています。東海道線が市街地を通過し、鉄橋を渡る風景は、多くの市民に親しまれています。

平成18年3月、それまで長い間親しまれてきた緑とオレンジの東海道線の車両は廃止され、新しい車両がこれからの鉄道景観の一翼を担っていきます。

駅舎をはじめ、平塚の顔として、市の質を向上させるような、施設デザインが要求されます。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連>

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・後世に残る施設デザインを考えましょう
- ・車窓景観を大切にしましょう

関連ガイドライン

No.55

景観要素

東海道新幹線

テーマ

田園を疾走する白い車体



景観づくりの方向性

田園の稲穂と調和した線路沿いの風景が、疾風のごとく通過する新幹線に映えるよう、沿線景観を形成します。

景観づくりのイメージ

緑豊かな田園を疾風のごとく通過する新幹線の風景は、子供たちにとって貴重な体験と記憶を残します。



事例紹介

(左)
相模川鉄橋

(右上)
金目川鉄橋

(右下)
旭地区



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

豊かな田園風景にマッチした、新幹線から見渡せる街路の並木などの整備を進めていきます。

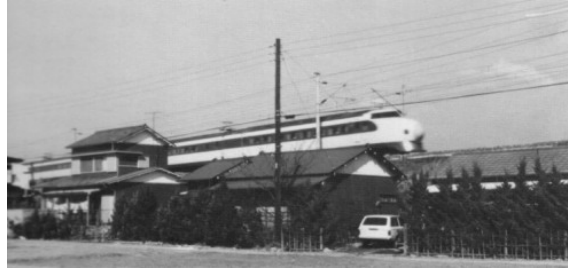


関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 15 No. 16 No. 17

都市・景観形成史

東海道新幹線は、昭和39年(1964年)に東京～新大阪間で開業しました。平塚市内では、相模川鉄橋から出縄トンネルの区間までの田園地帯を横断しています。



東海道新幹線工事着工(平塚50年の歩み)
新幹線すれちがいテスト・昭和38年



東海道新幹線工事着工

景観特性と課題

田園部を東西に貫く東海道新幹線の疾走する姿と、沿線にのびやかに広がる田園景観との対比は、静と動のダイナミックな景観を演出しています。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連>

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・後世に残る施設デザインを考えましょう
- ・車窓景観を大切にしましょう

関連ガイドライン

No.56

景観要素

車窓

テーマ

平塚の車窓から

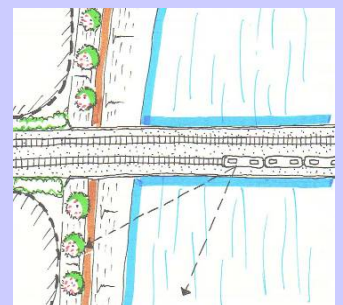
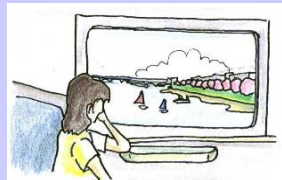


景観づくりの方向性

相模川や金目川を渡ると、平塚に帰ってきたなーと感じられる
 岸辺の風景を創出します。

景観づくりのイメージ

岸辺に桜並木や樹木が増えていき、川を渡ると緑豊かなやすらぎのまち平塚に到着します。



事例紹介

(左)
相模川鉄橋から下流方面



(右上)
相模川鉄橋から上流方面



(右下)
新幹線からの車窓



景観づくりの
 アクションプラン
 (たとえばこんな取り組み
 も考えられます！)

東海道線などの電車からの車窓は、「相模川を渡ると、ひらつか！」と言われるような、河川の並木による修景や川沿いの建築物のデザインの配慮、線路沿いの植栽などの修景を心がけていきます。

景観づくりキーワード

- 平塚の玄関口
- 眺望
- 相模川や金目川
- 農地
- 沿線の植栽

関連景観要素シート

No. 3 No. 4 No. 14 No. 15 No. 17

都市・景観形成史

「汽笛一声新橋を…」で愛唱される鉄道唱歌十番目で平塚・大磯が「大山参りの平塚に、下車する人数夏多く、嶋立沢と西行庵、大磯駅の名所なり」と唄われています。

相模川を渡る鉄橋は、明治20年に完成し、その13年後に複線化されました。大正11年の関東大震災で全壊しましたが、その2年後に新鉄橋が完成し、旅客下り線の鉄橋は昭和40年に架け替えられました。



馬入鉄橋

景観特性と課題

東海道線から望む車窓景観は、平塚市を印象付ける景観としての役割を担っています。特に、茅ヶ崎市側から相模川を渡り平塚市に入る際の車窓景観は、平塚市の顔として位置付けることができます。一方、平塚駅周辺では、沿線の大規模な屋外広告物など、景観を阻害する要因が生じています。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<景観法関連>

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること
・車窓景観を大切にしましょう

関連ガイドライン

No.57

景観要素

日々の暮らしの景観

テーマ

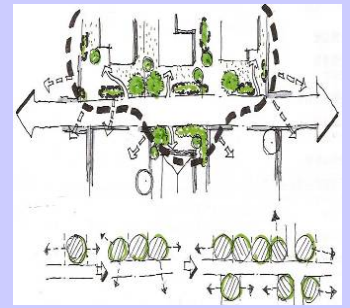
住宅だって、庭づくりだって
景観の一部

景観づくりの方向性

市民一人一人の手により、楽しいまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

手入れが行届いた生垣や、賑やかな花の咲く庭先に誘われて散歩する人々や、清掃に励む市民の姿が見られます。歩くことが楽しくなるような住宅地や市民ガーデナーに出会えます。



事例紹介

(左)
庭づくり(右上)
生垣(右下)
共同住宅の庭づくり景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

自慢の庭づくりや生垣づくりの公開や探訪会の開催、ガーデンマップづくりなど、市民による「オープンガーデン」の輪を広げていきます。また、庭づくりなどのパンフレットを作成し、PRしていきます。

景観づくりキーワード

生垣
花壇
ガーデニング
オープンガーデン
ポケットパーク

関連景観要素シート

No. 19 No. 25 No. 26 No. 27 No. 28 No. 29 No. 32 No. 39 No. 50
No. 51

都市・景観形成史

昭和32年に「花を咲かせましょう」と市民に呼びかける「花いっぱい運動」がはじまり、毎年4月中旬に花の種子や球根、苗木を積んだパレードを繰り出し、市民に無料で配布しました。この運動は17年間続き、昭和49年から市主催の「緑化まつり」に移行しました。平塚市では、昭和56年から、基準に沿った生垣を作る経費を一部補助する「いけがき設置奨励補助金制度」が始まり、平成16年からは通学路や避難路沿いのブロック塀等を対象に「ブロック塀等防災工事補助金交付要綱」が始まり、地震等による災害を未然に防ぐため、防災工事費の一部助成を行っています。

景観特性と課題



現在、平塚市内の多くの住宅地で、窓や玄関口に鉢植えなどを置いたり、道路に沿って生垣を作ったり、家の周辺を清掃するなど、地域住民の手による街を美しくする活動が数多く行われています。このような地域住民の日常的な取り組みが作り出す景観が、平塚市の暮らしの景観を支えています。また、平塚市では、昭和56年（1981年）から、生垣を作る場合に、その経費の一部の助成（「平塚市いけがき設置奨励補助金制度」）を行い、市民の取り組みを積極的に支援しています。

市民の取り組み

市内各地では、個々の家々で、また隣近所と協力して、きれいな庭づくりが行なわれています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 生垣の設置促進’ いけがき設置補助’ 【平塚市（みどり公園・水辺課）】
- ◆ 保全樹等の指定 【平塚市（みどり公園・水辺課）】

<今後の取り組み> ◎景観計画◎景観重要樹木○景観協議会○景観整備機構◎景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・道路と接する境界部分や敷地内を積極的に緑化しましょう
- ・景観づくりに積極的に参加しましょう

関連ガイドライン

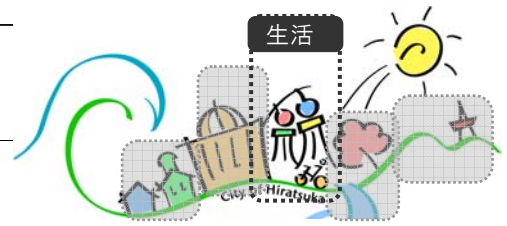
No.58

景観要素

七夕まつり景観

テーマ

平塚最大の祭り

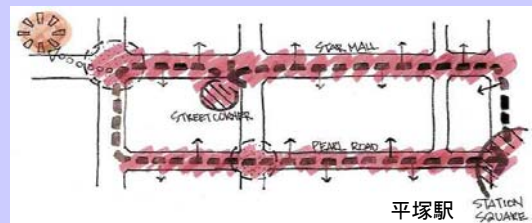


景観づくりの方向性

和を感じる七夕まつりの風景と調和した良好なまちなみを創出します。

景観づくりのイメージ

東海道らしい竹飾りに彩られた七夕まつりの風景が見られ、まちかど広場では、活気ある七夕ならではの催しが見られます。



事例紹介

(左)
夜景(右上)
七夕パレード(右下)
七夕飾り景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

豪華な竹飾りや市民手づくりの竹飾りの風景などを、年間を通してPRしていきます。
オープンカフェに使うパラソルの材料などに七夕で使用した竹などの有効活用を検討していきます。

景観づくりキーワード
東海道
竹
和
オープンスペース
シンボル道路

関連景観要素シート

No. 33 No. 34 No. 35 No. 60

都市・景観形成史



天の川
願いが叶う
七夕まつり

昭和20年7月の大空襲で壊滅的打撃を受けた平塚市は、昭和25年7月に「復興まつり」を開催し、多くの人出を見ました。そこで、平塚商工会議所、平塚市商店街連合会が中心となって昭和26年7月に第1回七夕まつりを行いました。昭和27年と28年には、「平塚七夕音頭」「紅谷町音頭」「平塚恋しや」が発表され七夕まつりに色をそえました。昭和32年の第7回七夕まつりからは、市の主催となり、諸産業発展を願い、また広く平塚を紹介する場として重要な役割を果たしており、今日では、日本を代表する七夕まつりに成長しています。



この頃から、豪華なものが現れはじめ、毎日数万人の観光客で賑わいました。
昭和29年の七夕飾り(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

湘南ひらつか七夕まつりは、戦後商業振興策として始められたもので、活発な商業力に裏づけられた日本一といわれる竹飾りの豪華さに特色があります。7月上旬の開催日には、300万人近くの人を訪れます。

市民の取り組み

竹飾りは、商店だけでなく、多くの市民の手作り作品が飾られます。また、市内外の高校生や大学生、市内に事業所を持つ企業から数多くのボランティアが、清掃活動や観光客の案内などに活躍しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 湘南ひらつか七夕まつり写真コンクール【平塚市（商業観光課）】
- ◆ 湘南ひらつか竹飾りコンクール【平塚市（商業観光課）】

<今後の取り組み> ○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・平塚らしい七夕の風景を大切にしましょう
- ・オープンスペースやポケットパークの設置を推進しましょう
- ・ショーウィンドウの設置を推進しましょう

関連ガイドライン

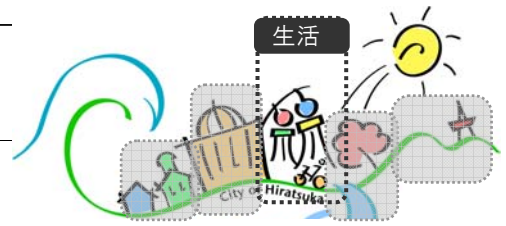
No.59

景観要素

地域の祭事やイベント

テーマ

平塚の暮らしは文化の宝庫



景観づくりの方向性

地域のお祭りやイベントが賑やかに催される風景を保全、創出します。

景観づくりのイメージ

市内各地の神社や商店街では、地域の文化や歴史を伝える祭事やイベントの風景が見られます。



事例紹介

(左)
鯉のぼり祭り (鈴川)



(右上)
湘南よさこいまつり
(湘南スターモール)



(右下)
桜まつり (洪田川)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

平塚らしい歴史を感じさせる古い地名や古道名などを、絵地図に用いたり、道路表示に活用したり、公園や交差点の名称などに復活させていきます。地域の歳事やイベントをPRしていきます。

景観づくりキーワード

地域の文化・歴史
市民活動
オープンスペース

関連景観要素シート

No. 6 No. 9 No. 11 No. 19 No. 20 No. 22 No. 23 No. 39 No. 44
No. 45 No. 65

都市・景観形成史

春の御輿渡御、夏の浜降り、ほおずきまつり、縁日、秋のぼんぼり祭りや酉の市、冬のえびすまつりなどの祭禮をはじめ、ルネッサンスまつり、夏まつり、囲碁まつり、スターライトフェスティバルなどの商店街でのイベント、緑化まつりや大盆踊り、健康フェスティバルなど総合公園でのイベント、そのほかビーチカーニバル、玄齋まつりや花火大会、市内各地で行われているどんど焼きなど四季折々の伝統行事やイベントが開催されています。

市指定重要文化財に指定されている「田村ばやし」は鎌倉時代から、前鳥神社の「前鳥囃子」は江戸時代から伝えられています。



田村ばやし(「平塚の文化財」)

景観特性と課題

市内では、5月の「国府祭へ前鳥神社・平塚八幡宮の御輿渡御」、7月の「真田神社ほおずきまつり」、「三嶋神社の浜降り」、8月の「春日神社の浜降り」「金目観音の四万八千縁日」「平塚八幡宮の浜降り祭」、9月の「平塚八幡宮のぼんぼり祭り」「前鳥神社例大祭」、11月の「大鷲神社の酉の市」、1月の「三嶋神社えびすまつり」など、古くから続く地域の神社を中心とした祭りが今も数多く行われています。また、「横内の家紋凧揚げ」（5月）など、地域独特の祭りも守り伝えられています。

これらの祭りやイベントは、地域にとって季節の移り変わりを感じる重要な風景です。こうした歳時やイベントの景観も、平塚らしさを彩る大切な景観です。

市民の取り組み

地域ごとのお祭りやイベントは、多くの市民に支えられて開催されています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 湘南ひらつか囲碁文化の振興【文化・交流課】

<今後の取り組み>

○ 景観協議会 ○ 景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみるこ

・ 次の世代へ地域の文化や歴史を大切に伝えていきましょう

関連ガイドライン

No.60

景観要素

夜の景観

テーマ

温かく美しい平塚の夜景



景観づくりの方向性

ホッとするような温かみを感じる街灯りや夜景を創出します。

景観づくりのイメージ

平塚に帰ってくると、ホッとするような夜の街灯りに出迎えられ、夜景を楽しみながら中心商店街を散策して帰ります。



事例紹介

(左)
夜桜のライトアップ
(渋田川)

(右上)
市民平和のタペ (総合公園)

(右下)
X'masビーチフェスタ
(ビーチパーク)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

七夕やクリスマスなどのイベントにふさわしいイルミネーションづくり、近代遺産などの公共建物のライトアップを進めていきます。
湘南平などの桜のライトアップや国道や幹線道路の街路灯による夜景の演出を進めていきます。

景観づくりキーワード

賑わい
防犯性
夜らしさ
街路灯
情緒

関連景観要素シート

No. 6 No. 18 No. 20 No. 33 No. 34 No. 35 No. 36 No. 37 No. 58
No. 63 No. 64

都市・景観形成史

昭和8年ごろの新平塚八景のうちに「蘭燈夜雨」があります。これは鈴蘭(すずらん)を型どった電燈6個をつけた電燈柱で、平塚新宿の東海道に面した市の中央部、銀座に比すべき商店街につけられたものです。この電燈は約50基が配置され、当時の平塚の繁華街の夜景を彩どり、平塚名物の一つでした。



すずらん電燈のともる新宿西町夜景(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市内には、関東屈指の夜景名所「湘南平」があります。また、平塚駅北側には県内有数の繁華街が広がっており、夜には様々なネオンが街を彩り、多くの人でにぎわっています。まちの灯りを活かした、平塚らしい夜景の演出が求められます。

市民の取り組み

「市民平和のタベ」や「クリスマスビーチフェスタ」、渋田川沿いの桜並木など、様々なライトアップイベントが活発に行われています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・夜景を楽しめるような工夫をしましょう
- ・ネオン・電飾等は控え目に使用しましょう
- ・夜間の見え方に配慮しましょう

関連ガイドライン

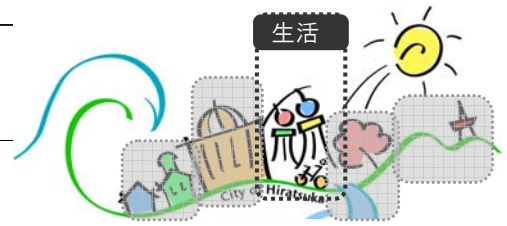
No.61

景観要素

自転車

テーマ

自転車のある暮らし



景観づくりの方向性

自転車空間の創出と自転車ネットワークの整備が進み、風景の中に自転車が溶け込む街を形成します。

景観づくりのイメージ

サイクリングコースの延長やネットワークの形成が進み、人と自転車が安全に仲良く共存する街となっています。



事例紹介

(左)
金目川
サイクリングロード

(右上)
紅谷パールロード

(右下)
金目川
サイクリングロードタ景

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

平塚駅周辺や中心商業地の駐輪場の整備と合わせて、レンタサイクルを活用するなどして、自転車の似合うまちづくりを進めていきます。

景観づくりキーワード

駐輪場
サイクリング
ロード
並木
照明

関連景観要素シート

No. 6 No. 33 No. 34 No. 35 No. 36 No. 50 No. 51

都市・景観形成史

金目川沿いのサイクリング道路は、昭和42年に全国初の本格的サイクリングコースとして開通しました。ほとんどが堤防敷や河川敷を利用し、春は桜並木、秋はススキの穂波がきれいです。平塚駅周辺は、昭和59年から自転車・バイク駐車場の整備とともに、自転車放置禁止区域を定めています。



サイクリング専用道路開通・昭和42年(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

本市は平坦な土地が多く、自転車利用は神奈川県平均の1.8倍もあり、本市の主要な都市交通手段の一つとなっています。環境にもやさしい自転車が利用しやすい環境整備が求められています。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・機能とデザインに配慮した駐輪場を設置しましょう
- ・十分な数の駐輪スペースを確保しましょう
- ・自転車との共存を検討していきましょう

関連ガイドライン

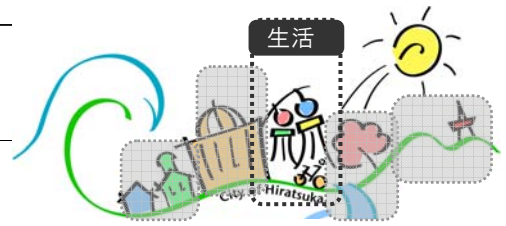
No.62

景観要素

美化活動

テーマ

市民の日常が生み出す
美しく清潔なまちなみ



景観づくりの方向性

一人ひとりの心がけにより、美しく清潔なまちなみを形成します。

景観づくりのイメージ

ゴミ拾いでなく、ゴミを捨てない、資源を大切にする市民活動により、いつのまにか平塚の街は美しさと清潔さが保たれています。



事例紹介

(左)
公園愛護会の活動

(右上)
中心市街地クリーン
アップキャンペーン

(右下)
ビーチクリーン



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

市民の様々な美化活動を促進し、「美しいまち、平塚」をPRしていきます。

景観づくりキーワード

クリーン
リサイクル
ノー・ポイ捨て

関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 6 No. 9 No. 11 No. 18 No. 33 No. 34 No. 35 No. 37
No. 63

都市・景観形成史

昭和40年代前半から始まった「まちぐるみ大清掃」は、現在、春と秋の年2回、多くの市民の皆さんに参加いただいて実施しています。平塚市は、平成18年に市民の快適で清潔な暮らしを阻害する身近な問題を防止し、豊かで住みよい地域社会をつくることを目的とした「平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例」を制定し、市民、事業者及び市の役割、禁止行為と罰則、地区の自主的な美化活動に対する支援などを定めました。



ごみ収集に衛生的、能率的なバックマスター(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市民意識調査からは、景観阻害要因として「ごみの不法投棄や土石・廃棄物等の野積み」を挙げた人の割合が最も高く、53.4%に上っており、ごみを捨てさせない取り組みの強化が求められています。平塚市では、平成14年から平塚駅周辺等に美化パトロール員を配置し、ポイ捨て・不法投棄の未然防止や啓発活動、ポイ捨て・不法投棄物の撤去等のパトロール活動を実施しており、今後も市民と行政との協働による不法投棄防止の取り組みが求められます。

市民の取り組み

市内では、年2回のまちぐるみ大清掃をはじめ、ゴミステーションの管理など、自治会を中心とした身近な美化活動が行われています。「安全安心なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼紙等の除却活動を実施しています。また、「平塚をみがく会」では、落書き消し等の活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 平塚市さわやかで清潔なまちづくり条例の推進【平塚市（資源循環課）】
- ◆ 美化推進モデル地区に対する支援【平塚市（資源循環課）】
- ◆ 不法投棄防止パトロールの実施【平塚市（環境業務課）】
- ◆ ひらつか環境ファンクラブやこどもエコクラブの活動の推進【平塚市（環境政策課）】
- ◆ CO2削減プランの実施【平塚市（環境政策課）】

<今後の取り組み> ○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに

- ・身近なところを清潔に保ちましょう
- ・小さなエコの取り組みを積み重ねましょう

関連ガイドライン

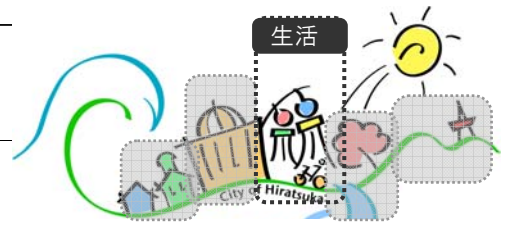
No.63

景観要素

広告物

テーマ

広告物にもデザインセンス



景観づくりの方向性

地域にふさわしい機能とデザインの広告物を誘導し、調和のある景観を形成します。

景観づくりのイメージ

広告物の色・デザイン・大きさが少しずつ洗練され、地域の環境に調和したまちなみに変化しつつあります。



事例紹介

(左)
道路愛称サイン
(明石町)

(右上)
道路愛称サイン
(浅間町)

(右下)
街路灯の広告
(紅谷町)



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます!)

店舗コンクールなどと連携し、店舗や看板などの「ひらつか景観賞」を設置、表彰していきます。

景観づくりキーワード

地域の個性
賑わい
周辺との調和

関連景観要素シート

No. 2 No. 3 No. 19 No. 33 No. 34 No. 35 No. 36 No. 38 No. 39 No. 46
No. 55 No. 60 No. 62 No. 64

都市・景観形成史

神奈川県屋外広告物条例は、昭和24年に制定され、屋外広告物の表示に関する基準等を定めています。平塚市では、平成18年度から県条例の権限の一部委譲を受け、屋外広告物の設置の許可、違反屋外広告物の簡易除却等に取り組んでいます。



M. K. Oによる違反広告物除却活動

景観特性と課題

現在、国道沿いや平塚駅周辺において屋外広告物の乱立が見られる地域があります。屋外広告物は賑わいを演出する装置となる一方、景観阻害要因ともなります。そのため、周囲と調和し、魅力を高める広告物へと誘導することが求められます。

市民の取り組み

平塚市では、「安心安全なまちひらつか」の実現に向けて、市民による違反屋外広告物除却協力員「M. K. O. (まちきらめき応援隊)」が組織され、中心市街地や学校周辺の違反貼り紙等の除却活動を実施しています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 屋外広告物の掲出に関する規制・指導の実施

【平塚市（まちづくり政策課／土木調整課）】

<今後の取り組み>

◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・機能とデザインのバランスを考えながら、必要最小限の魅力的な広告物を考えてみましょう
- ・地域にふさわしいデザインを考えましょう

関連ガイドライン

No.64

景観要素

ひらつかの色

テーマ

ひらつかの色を探そう

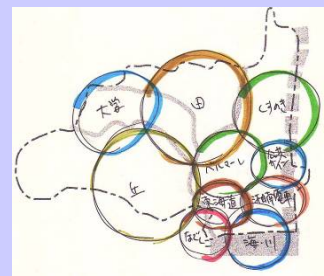


景観づくりの方向性

地域資源や特色を活かし、平塚らしい色に彩どられた景観を創出します。

景観づくりのイメージ

活気あふれる商業地、落ち着きある住宅地が、地域特性に応じた平塚らしい色に彩られています。また、公共デザインの色彩にも平塚らしさが醸し出されています。



事例紹介

(左)
くすの木の緑

(右上)
なでしこのピンク

(右下)
シラサギの白



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

市のCI（コーポレートアイデンティティ）の取り組みを進め、公共施設内のサインや公共デザインの色彩計画、小中学校の色彩計画づくりへとつなげていきます。
美術館と連携して、「五感で感じるひらつか」のイベントを企画していきます。

景観づくりキーワード

地域の個性
賑わい
周辺との調和
季節感
五感

関連景観要素シート

No. 60 No. 62

No.65

景観要素

ひらつかの音

テーマ

風景とともに奏でる調べ



景観づくりの方向性

目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切に保全します。

景観づくりのイメージ

風にそよぐ羽音、商業地のにぎやかなざわめき、通学路に行く元気な子どもの声など、場所や時間、季節に応じた様々な音とそれらを生み出す多様な風景が大切にされています。



事例紹介

(左)
田村囃子

(右上)
花火の音

(右下)
鐘の音 (真田の天徳寺)



景観づくりの
アクションプラン
(たとえばこんな取り組み
も考えられます!)

懐かしい音、平塚らしい音を市民から募集し、「音10選景観づくり」や地域ごとの音地図づくりを進めます。美術館と連携して、「五感で感じるひらつか」のイベントを企画していきます。

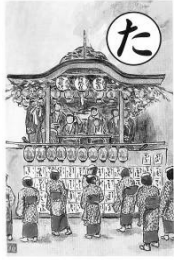
景観づくりキーワード

地域の個性
賑わい
周辺との調和
季節感
五感

関連景観要素シート

No. 10 No. 59

都市・景観形成史



田村ばやし
笛鉦太鼓の
夏まつり

市内には、田村ばやしや八幡神社雅楽など、民間芸能として伝承されてきた音色があります。また、岡崎神社や金目観音堂、真田の天徳寺に、江戸時代以前の貴重な梵鐘が残されています。

また、昭和の初めに選定された平塚新八景の一つに八幡鐘声（平塚新宿八幡神社）があります。

夏の夜空を音とともに彩る湘南ひらつか花火大会は、昭和26年の七夕まつりの始まりと合わせて、須賀で納涼花火大会として始まりました。



花火大会(平塚50年の歩み)

景観特性と課題

市内には多くの平塚らしさを感じる音があります。たとえば、田園地帯でのひばりのさえずりやかえるの鳴き声などは季節を感じる音ですが、その一方で、新幹線による騒音等は低下傾向にあるものの、依然として大部分の測定地点で環境基準を超えています。

市民の取り組み

田村の上町・横宿・下町の3町内には、八坂神社の祭礼の際に屋台を曳くための「田村ばやし（祭囃子）」と屋台が大切に伝えられています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・次の世代へ地域の文化や歴史を大切に伝えていきましょう
- ・地域にふさわしい音色を大切にしましょう

関連ガイドライン

No.66

景観要素

ひらつかの香り

テーマ

鼻で感じる風景

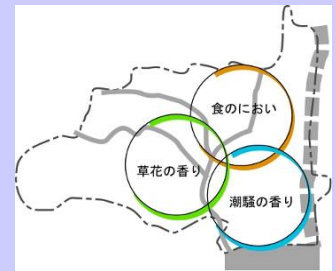


景観づくりの方向性

風景や暮らしの息吹を感じるにのびのびとした風景を大切に保全します。

景観づくりのイメージ

草花や潮騒の香り、商店や家々から流れるおいしそうなにおいなど、場所や時間、季節に応じた様々な香りとそれらを生み出す多様な風景が大切にされています。



事例紹介

(左)
花の香り
(バラ)

(右上)
潮の香り

(右下)
実りの香り

景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

平塚らしい良い香りを市民から募集し、「香り10選景観づくり」を進めます。美術館と連携して、「五感で感じるひらつか」のイベントを企画していきます。

景観づくりキーワード

季節感
五感

関連景観要素シート

No. 9 No. 10

都市・景観形成史

平成10年度からの新平塚市総合計画改訂基本計画では、「潮風と花のかおる湘南ひらつかまちづくり」をテーマに、ビーチパークや馬入お花畑の整備が進められました。

景観特性と課題

においては、不快な悪臭などの「臭い」と、快適な良いにおいである「香り」があります。「香り」は、花や樹木、潮風などの自然のものほか、生活や生産活動等に関わるものなどがあります。不快な臭いのない状況で、自然の香りや地域の文化・歴史等に関わる香りに接し、快適感を得ることができるような「香りの風景」づくりが求められています。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ○景観協議会○景観整備機構

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

・ひらつからしい香りはどんな香り・・・？

考えてみましょう

関連ガイドライン

No.67

景観要素

ひらつかの花

テーマ

花笑みの街



景観づくりの方向性

花を活かした彩りある景観を形成します。

景観づくりのイメージ

バラやなでしこなど、平塚にゆかりのある花々が咲くまちなみや公共空間が市内のいたるところに増えていき、市民に親しまれ、市民活動により維持管理されています。



事例紹介

(左)
総合公園のバラ



(右上)
馬入のポピー



(右下)
湘南平の桜



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

市全体を会場とした、平塚の四季折々の花々を楽しめるイベント（フラワーフェスティバル）の輪を広げていきます。
平塚らしい花や桜の名所などを市民から募集し、「花10選景観づくり」、「桜10選景観づくり」を進めていきます。

景観づくりキーワード

バラ
なでしこ
季節感
色
香り

関連景観要素シート

No. 30 No. 31 No. 41 No. 45

都市・景観形成史



見渡せば
コスモス一面
花づつみ

平塚の海岸地帯では、松林の間に散在する畑に桃の木が多く植えられ、名産品として知られていました。桃浜町の地名は、これに由来します。市民の花「なでしこ」は、市制施行50周年を記念して、昭和57年に市民の木「くすのき」とともに制定されました。なでしこ(ナデシコ科)は、山や野原に生える多年草で、夏から秋にかけてピンクの美しい花を咲かせます。



河原といい、昭和のはじめごろまで、大和なでしこの花がたくさん咲いていました。
もろこし河原(市制40周年記念誌)

景観特性と課題

市内には、神社や水路・川沿いの桜やあじさい、海岸のハマヒルガオやハマボウフウなど、四季を感じる花の名所が数多く存在します。また、平塚市はバラの栽培が神奈川県下で最も盛んです。さらに、市民の花はナデシコで、自生のかわらなでしこは、土沢方面の丘陵地などで見られます。

平塚市では、相模川沿いに「馬入・光と風の花づつみ」(花畑)を整備しました。この花畑では、お花畑ボランティアや地元自治会の方々などによって、草取りなどの維持管理作業が行われています。

市民の取り組み

「馬入・光と風の花づつみ」は、お花畑ボランティアの方々、地元自治会の方々、近隣の小学校の子供たちや関係者の方々など、たくさんの方々を支えられています。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

- ◆ 馬入花畑の整備【平塚市(みどり公園・水辺課)】
- ◆ 桜ヶ丘公園のサクラの里親制度の実施【平塚市(みどり公園・水辺課)】
- ◆ 花畑創出事業の推進(レンゲ草・クリムゾンクローバー・菜の花)
【平塚市(農水産課)】
- ◆ 神奈川県立花とみどりのふれあいセンター(仮称)の整備
【平塚市(農水産課)】

<今後の取り組み> ◎景観計画○景観協議会◎景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・平塚にゆかりのある花々を積極的に採用しましょう
- ・花とみどりにあふれたまちをつくりましょう

関連ガイドライン

No.68

景観要素

パブリックアート

テーマ

アートが街をつなぐ

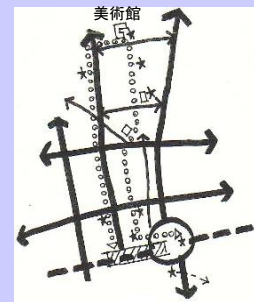


景観づくりの方向性

パブリックアートを通じ、芸術的で新しい公共空間を創出します。

景観づくりのイメージ

駅前広場のシンボリックなパブリックアートを出発点にまちなかのアートを見ながら、美術館へとたどり着くアートトレイルが体験でき、美術館ではゆったりとした時間を過ごすことができます。



事例紹介

(左)
美術館(右上)
駅前広場(右下)
市役所から美術館への道景観づくりの
アクションプラン(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

パブリックアートを市内に広げるため、美術館と大学、企業が連携した基金づくりなどの取り組みを進めます。里山や田園、商店街や海岸、河川など平塚の多様な景観資源とアートのコラボレーションによるアートフェスティバルを企画していきます。

景観づくりキーワード

市立美術館
まちかどスペース
オープンスペース

関連景観要素シート

No. 33 No. 34 No. 35 No. 36 No. 37 No. 40 No. 41 No. 42 No. 43
No. 44 No. 45 No. 60

都市・景観形成史

平成5年に「湘南ひらつか彫刻展」が総合公園を会場に開催され、全国から411点の作品の応募があり、その中から20点が選ばれました。展覧会後は、より多くの市民の皆さんが彫刻作品と出会えることを期待して、総合公園などの公共施設に移設されています。

平成6年に平塚市美術館で日比野克彦展が開催された際に、商店街の店舗に壁画が描かれました。



平塚市議事堂

景観特性と課題

平塚市美術館では、作品を”見る”だけでなく、ワークショップや市民展などがあり、市民が文化・芸術に親しめるような工夫を行っています。また、平塚市の玄関口となる駅前への彫刻など、市内にはパブリックアートが点在しています。

今後は、これらの市内に点在する資源をネットワーク化し、文化・芸術の薫り高い景観づくりを一層推進することが求められます。

市民の取り組み

平塚市美術館では、市民とともに市内の屋外彫刻を調査し、きれいに磨いていく活動に取り組んでいます。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ◎景観計画○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・まちなかのアートを探してみましょう
- ・オープンスペースへ積極的にパブリックアートを配置しましょう

関連ガイドライン

No.69

景観要素

公共デザイン

テーマ

デザイン都市を目指して

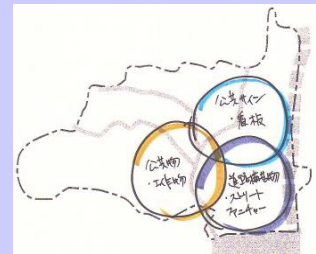


景観づくりの方向性

洗練された公共サインや公共のデザインを先導的に示し、良好な景観を創出します。

景観づくりのイメージ

パブリックアートや公共サインだけでなく、バス停留所やストリートファニチャーなど様々な公共空間が洗練されたデザインによりつくられ、心地よさを感じます。



事例紹介

(左)
なぎさプロムナードの
街路灯

(右上)
シンボル道路のサイン

(右下)
誘導サイン



景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組み
も考えられます！)

市のCI（コーポレートアイデンティティ）の取り組みを進め、公共施設内のサインの統一や、公用車やごみ収集車のデザイン化や広告媒体の活用など様々なシティセールスへとつなげていきます。

景観づくりキーワード

CI
シティセールス
洗練

関連景観要素シート

No. 8 No. 10 No. 20 No. 33 No. 35 No. 40 No. 41 No. 42 No. 43
No. 44 No. 45 No. 46 No. 47 No. 48 No. 49 No. 50 No. 52 No. 53

都市・景観形成史

公共下水道のマンホールの蓋に平塚らしいデザインが施されています。中心市街地のショッピングモール整備の際に、街灯やベンチ、ゴミ箱などのストリートファニチャーがデザインされています。



「湘南ひらつか」のマンホールのふた

景観特性と課題

平塚市では、平成12年度より公共サインマニュアルの策定に向けて検討をはじめ、平成14年度に「平塚市公共サインマニュアル（歩行者系サイン）」を策定し、順次サインの設置を進めています。案内サインやパブリックアートだけではなく、バス停留所やストリートファニチャーなど様々な公共性の高いものに対して、景観づくりを先導する公共デザインの取り組みが求められます。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

<今後の取り組み> ◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみること

- ・長い間愛されるデザインを積極的に採用しましょう
- ・機能とデザインのバランスを考えながら、魅力的なデザインを想像しましょう

関連ガイドライン

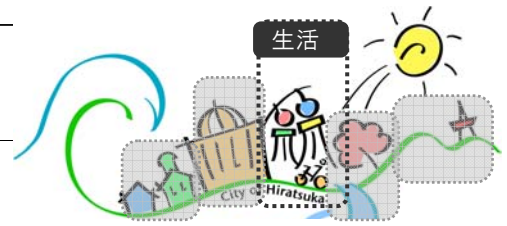
No.70

景観要素

平塚八景

テーマ

平塚八景から平塚百景へ



景観づくりの方向性

平塚を特徴付ける景観資源を選定していくことで、平塚らしい景観を保全・創出します。

景観づくりのイメージ

様々な地域の景観資源の活用や新たな都市景観の創造などにより、少しずつ平塚らしい景観づくりが進み、市民公募による平塚百景が選ばれていきます。



事例紹介

(左)
七国峠(右上)
湘南潮来(右下)
森の前鳥神社景観づくりの
アクションプラン

(たとえばこんな取り組みも考えられます！)

平塚の景観資源を紹介する写真・絵・映像などをホームページや冊子などにより市内外にPRしていきます。四季の平塚らしい風景や写真を募集します。

景観づくりキーワード

景観資源の発掘
シティセールス

関連景観要素シート

No. 4 No. 5 No. 6 No. 9 No. 18 No. 21

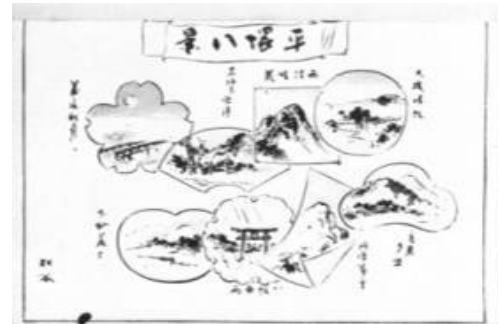
都市・景観形成史



展望の
七国峠で
ひとりじめ

琵琶湖の近江八景になぞらえて、明治末期に平塚町の風景を銘じた最初の平塚八景は、大磯帰帆（花水川河口から見た大磯）、雨降晴嵐（大山）、薬師寺晩鐘（平塚薬師院）、花水秋月（花水橋）、高麗夕照（高麗山）、丹沢暮雪（丹沢山）、八幡夜雨（平塚新宿八幡神社）、下地落雁（花水川沿いの撫子原）です。

その後、平塚の風景も著しく変貌したため、昭和の初めに平塚新八景として、蘭燈夜雨（当時東海道筋繁華街に灯された鈴蘭電灯）、湘南逍遙（当時の湘南遊歩道路）、馬入遊舟（馬入川の遊覧船）、雨降遠山（大山）、高麗紅葉（高麗山の紅葉）、八幡鐘声（平塚新宿八幡神社）、諏訪飛雁（大久保公園付近）、須賀出漁（相模川河口）が選ばれました。市制50周年を記念して昭和57年4月1日に制定された現在の平塚八景は、金目川と観音堂、七国峠・遠藤原、霧降の滝・松岩寺、湘南平、平塚砂丘夕映え、湘南潮来、八幡山公園、森の前鳥神社です。



口絵 平塚八景(「平塚市制40周年記念誌」)

景観特性と課題

現在の「平塚八景」は、それぞれ風光明媚な自然や眺望に恵まれ、地域の歴史を伝えています。市民の憩いの場としてなど、多くの人たちが訪れるこれらの場所は、さらに、案内サインや散策コースの整備・充実が求められています。

市民の取り組み

今後具体的な市民活動が明らかになった段階で、記載します。

関連施策や制度

<関連施策・指針・制度>

◆ 平塚八景の活用【商業観光課】

<今後の取り組み>

◎景観計画◎景観重要公共施設◎景観重要建造物○景観協議会○景観整備機構○景観協定

建築物や看板を造ったり、開発などを行う場合に考えてみることに
・平塚を特徴づける景観資源を大切にしましょう

関連ガイドライン